

注 文 書

- 1 工事番号 2026000644
- 2 工事名 令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事
- 3 施工地名 大崎市 古川地域 長岡地内外
- 4 工事期限 令和9年2月26日
- 5 添付書類
 - (1) 特記仕様書
 - (2) 参考明細書
 - (3) 図面
- 6 担当課 大崎市 建設部 建設課

特記仕様書

第1章 総則

1. 本工事はすべて設計図書、宮城県土木工事共通仕様書及び本特記仕様書、施工条件明示書に基づき施工し、また、工事箇所及び周辺にある地上・地下の既設構造物に対し支障を及ぼさないよう事前に占有又は所有者の立ち会いを行い、施工に万全を期すると共に損害を与えた場合は請負者の責任において処置しなければならない。

第2章 材料

1. 工事材料の規格並びに材質は設計図書に明記されたものとし、監督員の承諾を得るものとする。
特に明記なきものについても、同様に監督員の承諾を得たものを使用するものとする。
2. 材料の検査においては、設計図書において明記されたものとするが、特に明記なきものも必要と思われるものについては、監督員と協議するものとする。
3. 材料に関する調査及び見本検査においても前項と同様とする。

第3章 施工

1. 施工に先立ち、施工計画書を監督員に提出し承諾を得るものとする。施工方法については、施工計画書を遵守するとともに現場条件に変化があった場合は、直ちに監督員と協議し施工計画書の変更を行うものとする。
2. 本工事において使用する建設機械は、排出ガス対策型の使用を原則とし、工事箇所において容易に確認できる書類を整備しておくこととする。

第4章 建設副産物処理

1. 本工事において発生する建設副産物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理するものとする。
2. 再資源化施設において受入能力等により搬入不可能となった場合は、別の再資源化施設に搬入するものとする。
3. 再資源化施設に搬入不可能となった場合には、建設副産物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき許可を得た処理施設に搬入処理するものとする。
なお、この処理施設以外で自社最終処分場が所定の条件を満たしていると認められる場合は、設計変更の対象とする。ただし、この場合でも処分費は当初設計額における処分費を超えないものとする。
また、自社最終処分場に処理する場合の処分費は、当該最終処分場までの運搬費と最終処分場における廃棄物処理費の合計とする。
4. 当該工事受注後は、速やかに施工計画書の中に再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書及び建設廃棄物処理計画書を作成し提出するものとする。
5. 建設廃棄物を処理したあとは、速やかに建設副産物処理結果報告書に処理状況を確認できる写真及び建設廃棄物処理に係るマニフェスト（積荷目録）を提出するものとする。

第5章 暴力団等の排除について

1. この契約の履行期間中に大崎市入札契約暴力団排除措置規則（平成25年6月1日施行。以下「排除規則」という。）の措置要件に該当すると認められたときは、契約を解除することがある。
2. 本市から指名停止の措置を受けている者にこの契約の全部又は一部を下請けさせ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請け若しくは受託をさせた者が、排除規則の措置要件に該当すると認められるときは、当該下請契約等の解除を求めることがある。
3. この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団関係者等（以下「暴力団員等」という。）から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察への通報を行い、捜査上必要な協力を行うとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴

力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、同様の措置を行うよう指導すること。

なお、暴力団員等から不当要求又は妨害を受け、適切に警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が行われた場合で、これにより、履行遅延等が発生すると認められるときは、必要に応じて、工程の調整又は履行期限の延長等の措置を講じる。

第6章 その他

1. 本工事に着手するにあたり、必要であれば警察署及び消防署等に道路使用許可申請、通行止めの協議をし、緊急・一般車両・歩行者等の交通に支障のないよう努めること。
2. 本工事において境界杭を破損・紛失した場合は、請負社の責任において復元するものとする。
3. 本工事における下請負、資材調達は大崎市内の企業を活用することを原則とする。
また、工事着手後に発注者が指定した主要資材については、工事完了時に主要資材市内調達調書を提出すること。
4. 本工事は、週休2日工事【発注者指定型（現場閉所型）・~~発注者指定型（交代制）~~】の対象である。
5. 受注者は、週休2日工事の対象期間の開始日から月毎に、休日等の取得の実績が確認できる休日等取得実績書を作成し、発注者へ提出するものとする。
6. 当初積算では週休2日補正を行っていない。受注者は、工事着手前に発注者と週休2日の区分（「通期の週休2日」、「月単位の週休2日」又は「完全週休二日」）を協議の上取り組むこととし、発注者は対象期間中の休日等取得実績に応じて設計変更するものとする。
7. 本工事は、現場環境改善費（率計上分）を計上している工事である。なお、計上費目、実施内容については、【特記仕様書（施工条件明示書）11条(1)現場環境改善費（率計上）について】に記載のとおりとする。
8. 本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。受注者は、本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者と協議すること。

— 特記仕様書 —

令和8年5月1日以降公告案件から適用

施工条件明示書

工事番号	2026000644		工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線(新堰場2号橋外2橋)橋梁修繕工		事務所名	大崎市 建設部 建設課						
項目	条件		内容		施工方法	備考							
1 共通仕様書の適用			本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。										
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置													
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」			○	契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)									
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)			○	契約工期初日以降、○○日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。									
(3) 上記以外			●	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手									
			上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html										
3 専任特例の適用を受ける技術者の配置													
			建設業法第26条第3項ただし書の規程(以下「専任特例」という。)の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合は、下記によるものとする。 1 専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合、適用要件について以下の出納局契約課ホームページを参照すること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html 2 本工事に主任技術者又は監理技術者が専任特例の適用を受ける場合、落札候補者となった際に確認事項兼誓約書を提出すること。 3 本工事に、専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORINNS)への登録を行うこと。										
4 積算基準及び設計単価の適用期日													
(1) 積算基準及び設計単価の適用について			●ある	○ない	積算基準及び設計単価は、別紙「参考明細書」、「【参考資料】積算入力データリスト」及び「設計単価リスト」に記載されている年月の基準及び単価としている。								
5 工程関係													
(1) 関連工事による施工時期の調整			○ある	●ない									
(2) 施工時期による制限			●ある	○ない	新堰場2号橋・新前田沢橋：橋梁下が一級河川につき、出水期の施工不可。		原則として、非出水期(11月～5月)の間に施工すること。						
(3) 関係機関等との協議の未成立			●ある	○ない	新堰場2号橋・新前田沢橋：河川占用未協議(一時占用許可)のほか、道路使用協議が未協議である。		受注者は、契約後速やかに現地調査を実施し、保安施設設置計画書を監督職員に提出すること。						
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加			○ある	●ない									
6 公害対策関係													
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限			○ある	●ない									
7 安全対策関係													
(1) 交通安全施設等の指定			○ある	●ない									
(2) 占用施設との近接工事による 施工方法、作業時間の制限			○ある	●ない									
8 排水工関係													
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性			○ある	●ない									
9 建設副産物対策関係(建設発生土)													
(1) 建設発生土の処理・処分について			本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。										
(2) 建設発生土	処理・処分	●ある ○ない	●ある ○ない	処理・処分場所		処理・処分方法	距離	制限時間	備考				
				名称	所在地								
	・新堰場2号橋	残土受け入れ地: 南久光組	大崎市鹿島台 広長石川原地内	運搬まで(敷均しと転圧は受入地側で対応)	21.3 km	時 分 ~ 時 分	含水比の高い土は場内でばっ気してから運搬すること。						
・新前田沢橋	残土受け入れ地: 藤イシケン	登米市登米町 大字日根牛宇 北沢山地内	運搬まで(敷均しと転圧は受入地側で対応)	27.7 km	時 分 ~ 時 分	含水比の高い土は場内でばっ気してから運搬すること。							
10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)													
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について			下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または廃棄物対策課のHPを参照)。										
(2) 建設発生土以外の 建設副産物	処理・処分	●ある ○ない	●ある ○ない	処理・処分場所		処理・処分方法	距離	制限時間	備考				
				名称	所在地								
				コンクリート塊 ・新堰場2号橋	中間処理・再資源化					大崎市古川北 宮沢字朴木次 丙地内	運搬まで	11.5 km	時 分 ~ 時 分
				コンクリート塊 ・新前田沢橋	中間処理・再資源化					大崎市古川北 宮沢字朴木次 丙地内	運搬まで	9 km	時 分 ~ 時 分
				アスファルト塊 ・新前田沢橋	中間処理・再資源化					大崎市古川清 水字三丁目石 田地内	運搬まで	11.3 km	時 分 ~ 時 分
				建設発生木材	○ある ●ない							km	時 分 ~ 時 分
				建設汚泥	○ある ●ない							km	時 分 ~ 時 分
その他	○ある ●ない			km	時 分 ~ 時 分								
(3) 再生材の利用			○ある	●ない	種類・数量								

11 現場環境改善													
(1) 現場環境改善費(率計上)について	○ある	○ない	<p>本工事は、現場環境改善費(率計上)を計上している工事である。下表の内容のうち原則として、各計上費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1内容ずつ(ただし、いずれか1費目のみ2内容)の合計5つの内容を選択し、具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計上費目</th> <th>実施する内容(率計上)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td> <td>1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減</td> </tr> <tr> <td>営繕関係</td> <td>1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td> </tr> <tr> <td>安全関係</td> <td>1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警備器等)</td> </tr> <tr> <td>地域連携</td> <td>1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーション)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献</td> </tr> </tbody> </table>	計上費目	実施する内容(率計上)	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警備器等)	地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーション)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
計上費目	実施する内容(率計上)												
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減												
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等												
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警備器等)												
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーション)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献												
(2) 避暑(熱中症対策)・避寒対策費について	避暑(熱中症対策)・避寒対策を実施した場合、その費用を設計変更の対象とする。(共通仮設費の現場環境改善費(積み上げ分)として計上)実施に当たっては、対策内容がわかる資料により発注者と協議すること。費用については、注文書及び請求書、またはそれに代わる書類により協議すること。ただし、設計変更の上限額は、土木部標準積算基準書により算出した現場環境改善費(率計上)の50%とする。なお、設計変更の対象となる内容は、遮光設備や大型扇風機、製氷機の設置費用など現場の施設や設備に対する対策であり、空調服や経口保水液の購入費用など作業員個人に対する対策は対象外となる。												
(3) 快適トイレの設置費について	受注者が快適トイレを設置する場合、その費用を設計変更の対象とします。(共通仮設費(営繕費)の積み上げ分として計上)実施に当たっては、「快適トイレの設置費用に係る積算基準」(事業管理課IPR-各種基準)を参照すること。												
12 品質証明													
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象	○ある	○ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。										
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象	○ある	○ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。										
13 標準的な設計図書による発注方式													
	○ある	○ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。										
14 資材関係													
(1) 生コンクリート	生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。												
(2) 購入土	購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。												
(3) 宮城県グリーン製品の利用	必須	1. 植生基材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。											
「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は循環型社会推進課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。	○ある	○ない	2. 盛土材、埋め戻し材										
	○ある	○ない	3. その他()										
(4) 県内産製品の使用	○ある	○ない	本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。事業管理課ホームページ参照 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html										
(5) 現場吹付法枠工	吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm ² 以上とする。												
15 設計変更の手続き													
(1) 設計変更の手続きについて	設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1-1-14～1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。 詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事、建設関連業務】」を参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html トップページ > しごと・産業 > 土木・建築・不動産 > 建設業 > 設計変更ガイドライン【土木工事、建設関連業務】												
16 その他													
(1) 舗装の下請制限について	○ある	○ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。										
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無	○ある	○ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。										
(3) 三者会議の対象の有無	○ある	○ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。										
(4) 貸与資料の有無	○ある	○ない	本仕様書によるもののほか工事施工に關して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料(点検診断書、橋梁点検調査、設計報告書)										
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	○ある	○ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。										
(6) 法定外の労災保険の付保について	本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。												
(7) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無	○ある	○ない	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。										
(8) 盛土規制法について	本工事において、盛土規制法の規制対象となる行為を行う場合は、事前に手続き方法等について発注者と協議すること。詳細については、以下のホームページを参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentaku/morido.html												

働き方改革・生産性向上に関する事項

項目	条件	内容
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無		
(1)「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	1. 下記①、②、③に該当する工事のうち、発注者が適用対象とした工事が対象となる。 ① 一定の箇所にICT建設機械で施工可能な土工数量1,000m ³ 以上ある工事 ② 一定の箇所にICT建設機械で施工可能な新設する路盤数量又は切削面積3,000m ² 以上ある工事 ③ ICT土工、ICT舗装工以外の工種で「ICT活用工事実施要領」(国土交通省)が定められている工種を含む工事 2. 活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 3. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。※簡易型(施工計画型)、標準型(施工計画型)、標準型(技術提案型)、高度型、技術提案チャレンジ型、簡易型(施工計画型・試行型)の場合 なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。 4. 設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとし、受発注者協議により決定した技術を設計変更の対象とする。なお、受発注者協議により、活用提案を実施しないこととなった場合、「ICT施工・3次元化等の活用提案」は履行されたものとして取り扱い、履行確認を行う。
18 BIM/CIMの活用の有無		
(1)BIM/CIM活用工事の対象	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	1. 本工事は、BIM/CIM活用工事の対象工事である。実施にあたっては「BIM/CIM適用工事実施要領」に基づき行うこと。 2. BIM/CIM適用工事実施要領を適用する工事で、発注方法に総合評価落札方式の簡易型(施工計画型)、標準型(施工計画型)、標準型(技術提案型)、高度型、技術提案チャレンジ型、簡易型(施工計画型・試行型)を適用する工事は「施工計画等」や「技術提案等」(いわゆる作文)に関する評価項目において、BIM/CIMに関する提案を評価の対象外とする。
(2)BIM/CIM活用工事の発注型式	<input type="radio"/> 発注者指定型 <input checked="" type="radio"/> 対象外 <input type="radio"/> 受注者希望型	【発注者指定型】(記載例) 前段階で作成した3次元モデルは以下のとおりである。(前段階で作成した3次元モデルが存在する場合に記載) 作成した3次元モデル:地形モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付与した属性情報:部材名称、部材寸法 想定する活用目的、活用内容等は以下のとおりである。 活用目的:住民説明において、3次元モデルによりわかりやすく事業計画を説明することにより、円滑かつ確実に合意形成を図ることを目的とする。 活用内容:本事業の住民説明においては、事業計画のフェーズに沿った現道切り回しの状況を説明し、工事開始後の生活上の支障等を確実に伝達する必要があることから、各フェーズにおける状況を3次元モデルにより表現する。 作成する3次元モデル:地形モデル、土工形状モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付与する属性情報:部材名称、部材寸法 費用については、受発注者間で協議し、発注者が活用効果等を確認のうえ、計上する。 なお、上記以外の内容における3次元モデルの活用についても、受注者の希望により実施することが可能である。 【受注者希望型】(記載例) 前段階で作成した3次元モデルは以下のとおりである。(前段階で作成した3次元モデルが存在する場合に記載) 作成した3次元モデル:地形モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付与した属性情報:部材名称、部材寸法 BIM/CIMの活用を希望する場合は、工事受注後、監督職員と目的、活用内容、仕様及び費用等について協議すること。 費用については、受発注者間で協議し、発注者が活用効果等を確認のうえ、計上する。
19 業務効率化		
(1)工事情報共有システムの活用	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外	本工事は、情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム実施要領」及び「土木工事・業務の情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2)工事書類の簡素化の試行について	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3)ウィークリースタンス等の推進		本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)
20 週休2日工事の適用の有無		
(1)週休2日工事	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 実施困難工事	1. 週休2日対象工事の場合は、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領に基づき、行うこととする。 なお、週休2日工事の種別及び区分については、下記(2)、(3)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が建設業に適用されたことを踏まえ、週休2日の確保を目指し、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事など緊急工事の場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。
(2)週休2日工事の種別	<input checked="" type="radio"/> 現場閉所型 <input type="radio"/> 交替制	現場閉所型:巡回/パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交替制:現場閉所を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。
(3)週休2日工事の区分		当初発注においては、補正係数なしで積算しており、「月単位の週休2日」、「完全週休2日」に取り組み場合は、工事着手前に受発注者間で協議の上、週休2日の区分を決定することとする。 協議により、「月単位の週休2日」又は「完全週休2日」に取り組み、達成した場合は、精算変更時に達成した区分に応じた週休2日の補正係数に変更する。
21 女性活躍推進工事の適用の有無		
(1)女性活躍推進工事	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「女性活躍推進工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。
22 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無		
(1)下請承認事務簡素化モデル工事	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「下請承認事務簡素化モデル工事」実施要領に基づき、行うこととする。

東日本大震災に伴う特例制度

項目	条件	内容	施行方法	備考
23 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある ●ない	<p>1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。</p> <p>営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労働管理費:募集及び解散に要する費用、貸金以外の食事、通勤等に要する費用</p> <p>2 本工事は、予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。</p> <p>1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 22.04% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、貸金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 1.73%</p> <p>3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>		
(2) 労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事	○ある ●ない	<p>本工事は、「労働者宿舎設置に関する試行要領」(以下「試行要領」)の対象工事である。 労働者宿舎の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。</p>		
24 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある ●ない	<p>下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。</p> <p>購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、砕石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。</p>	<p>受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。</p> <p>1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場及び規格・形状等の証明資料「品質証明」 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積もり書 6 その他、必要と思われる事項</p>	
25 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の対象工事	●ある ○ない	<p>本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「新堰場2号橋、新木杭橋、新前田沢橋」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法」の対象工事である。</p>	<p>本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様で、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。</p>	
26 その他				
(1) 土砂等建設資材を供給元で引取る場合の積算の取扱い	○ある ●ない	<p>・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。</p>		
(2) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	●ある ○ない	<p>間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工程区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。</p> <p>補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1</p>		

特記事項

1 基本事項			
(1) 設計図書と現地調査の相違点について	着手前調査において、本設計図書との相違点が確認された場合は、直ちに監督職員に報告するとともに、対応を検討し書面で協議すること。		
(2) 提出書類について	工事打合せや段階確認書等の提出書類については、遅滞なく監督職員に提出し、承諾後次の施工に移行すること。なお、履行報告書には、各工種の進捗率が分かるように整理することとし、施工写真を必ず添付すること。		
(3) 週間工程表について	施工に際し、2週間工程表を前週中に提出すること。提出方法については、書面 又は電子メールとする。		
(4) 苦情等の対応について	施工に際して、利用者及び地域住民に迷惑のかかることのないように十分注意しておくこと。また、本工事において、疑義や一般の方から苦情があった場合は、速やかに監督職員に報告し、協議または打ち合わせをおこなうこと。		
(5) 工事実績情報システム(コリンズ)	請負者は、工事請負額が500万円以上の工事について、工事実績サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。		
2 施工方法			
(1) 新技術等の活用について	受注者は、工事の施工にあたっては「新技術情報提供システム(NETIS)」(https://www.netis.mlit.go.jp/netis/)の掲載技術の積極的な活用を検討すること。		
(2) その他	本設計仕様等で疑義が生じた場合は直ちに監督職員と協議するものとし、打合せ・協議・承諾・指示等の内容はすべて工事打合せ簿等の書面で行うこと。		
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
3 追加事項3			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
4 追加事項4			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
5 追加事項5			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
6 追加事項6			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			
7 追加事項7			
(1) 追加			
(2) 追加			
(3) 追加			
(4) 追加			
(5) 追加			

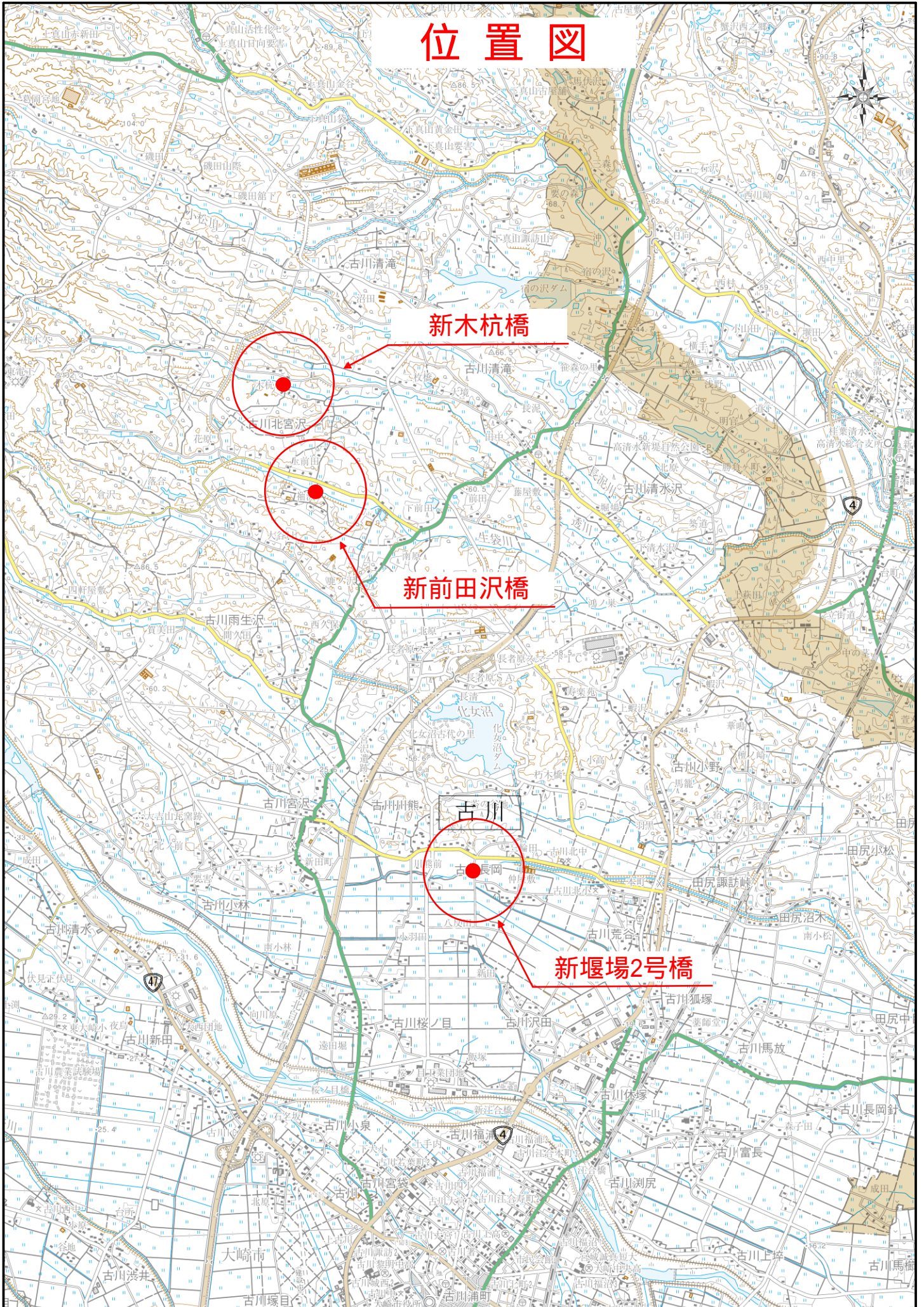
位置図

新木杭橋

新前田沢橋

古川

新堰場2号橋



※本工事工種は (1) 新堰場2号橋「橋梁保全工事」である。
(2) 新木杭橋「橋梁保全工事」である。
(3) 新前田沢橋「橋梁保全工事」である。

※施工地域補正は (1) 新堰場2号橋「補正無し」である。
(2) 新木杭橋「補正無し」である。
(3) 新前田沢橋「一般交通影響あり(2)-1」である。

※復興係数補正「あり」である。

※熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無「あり」である。

※現場環境改善費率計上の有無「あり」である。

※交通誘導警備員の配置人数について

工事期間中の交通管理に要する「交通誘導警備員」の数量については、交通誘導警備員が必要と想定される主な工種の「作業日当り標準作業量」から算定した作業日数を用いている。

○当該工事区間における配置人数

(1) 新堰場2号橋

・工事区間の交通誘導員の配置は 無し

(2) 新木杭橋

・工事区間の交通誘導員の配置は 無し

(3) 新前田沢橋

・工事区間の 前後 に 交通誘導員B を配置する。

・参考配置人数：4人

・昼夜の別：昼間

・交代要員の有無：無し

追記

1) 所轄警察署との交通協議により、交通誘導警備員の配置変更等があった場合には、別途協議の上設計変更することができる。

2) 施工数量に変更が生じた場合にいて、これと連動する交通誘導員の計上日数に変更となるときは、別途協議のうえ設計変更することができる。

3) 交通誘導警備員の定義は次のとおり

交通誘導警備員A：警備業者の警備員で、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員

交通誘導警備員B：警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の誘導警備員

(大崎市では、過去3年以内に建設業協会等が主催した建設工事の事故防止のための安全講習会受講者も認める)

設計単価リスト

別紙

工事名 令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事

名称	規格	単位	単価	年度	月	単価採用元	備考
大型土のう袋材	H=1.08m W=1.1m	袋		2026	5	宮城県資料	宮城県土木部単価
材料費	ポリマーセメントモルタル	kg		2026	5	物価資料	建設物価
材料費	低圧注入器具	個		2026	5	見積資料	4者見積り，平均直下値採用
アスファルト混合物	密粒度As(13T)改質Ⅱ型	t		2026	5	物価資料	積算資料，建設物価を比較し，平均価格採用
目地材	橋面防水用	m		2026	5	物価資料	積算資料，建設物価を比較し，平均価格採用
橋梁用高欄	Gr-C種・ベースプレート式・笠木付き	m		2026	5	見積資料	4者見積り，平均直下値採用
床版排水材	排水用導水管(樹脂製φ15)	m		2026	5	物価資料	積算資料，建設物価を比較し，平均価格採用
購入土	山砂 不洗	m3		2026	5	宮城県資料	宮城県土木部単価
注入材	ポリウレタン樹脂1種	kg		2026	5	見積資料	4者見積り，平均直下値採用
シール材	シール材	kg		2026	5	見積資料	4者見積り，平均直下値採用
処分費	残土受入費(有久光組) 新堰場2号橋	m3		2026	5	宮城県資料	宮城県土木部単価
処分費	Co殻 無筋 2.35t/m3	m3		2026	5	宮城県資料	宮城県土木部単価

処分費	残土受入費(株イシヤン) 新前田沢橋	m3		2026	5	宮城県資料	宮城県土木部単価
処分費	As殻 2.35t/m3	m3		2026	5	宮城県資料	宮城県土木部単価
コンクリートアンカー	本体打込み式 M12×50	本		2026	5	物価資料	積算資料, 建設物価を比較し, 平均価格採用
吊足場	タイプ A1	m2		2026	5		橋梁架設工事の積算 R7
床面シート張防護		m2		2026	5		橋梁架設工事の積算 R7
吊足場	タイプ B 朝顔(両側)	m2		2026	5		橋梁架設工事の積算 R7
吊足場	タイプ B 板張防護	m2		2026	5		橋梁架設工事の積算 R7
吊足場	タイプ B シート張防護	m2		2026	5		橋梁架設工事の積算 R7
橋梁用床版水抜き管	フレキシブルチューブ φ25	m		2026	5	物価資料	積算資料, 建設物価を比較し, 平均価格採用
スクラップ	鉄 H3	t		2026	5	物価資料	積算資料, 建設物価を比較し, 平均価格採用
高密度ポリエチレン管	φ500mm	m		2026	5	宮城県資料	宮城県土木部単価

設計内訳書（新堰場2号橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事		式	1				
橋梁補修工		式	1				
ひび割れ補修工		式	1				
低圧注入工法 下部工	1構造物当り補修延べ延長:25m未満, 材料種類:エポキシ樹脂1種	構造物	1				単 1号 施工数量:0.5m/構造物
断面修復工		式	1				
左官工法 上部工・下部工	1構造物当り修復延べ体積:0.34m3, 材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:無し	構造物	1				単 2号 施工数量:0.34m3/ 構造物
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	Co殻(無筋)	m3	0.3				単 3号
殻処分	Co殻(無筋)	m3	0.3				単 4号
遊離石灰除去 上部工・下部工		m2	6				単 5号
仮設工		式	1				
橋梁補修用足場工		式	1				
吊足場	吊足場タイプ:A1・B, 各養生シートを含む, 供用月数:0.9月	m2	30				単 6号
土留・仮締切工		式	1				

設計内訳書（新堰場2号橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
仮締切工	大型土のう						内 1号
		式	1				
直接工事費							
		式	1				
共通仮設							
		式	1				
共通仮設費							
		式	1				
現場環境改善費							
		式	1				
現場環境改善費（率計上）							
		式	1				
共通仮設費（率計上）							
		式	1				
純工事費							
		式	1				
現場管理費							
		式	1				
工事原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				
工事価格							
		式	1				
消費税額及び地方消費税額							
		式	1				

設計内訳書（新木杭橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事							
		式	1				
橋梁補修工							
		式	1				
ひび割れ補修工							
		式	1				
低圧注入工法 下部工	1構造物当り補修延べ延長:25m未満,材料種類:エポキシ樹脂1種						単 7号 施工数量:3.8m/構造物
		構造物	1				
断面修復工							
		式	1				
遊離石灰除去 下部工							単 8号
		m2	1				
直接工事費							
		式	1				
共通仮設							
		式	1				
共通仮設費							
		式	1				
現場環境改善費							
		式	1				
現場環境改善費（率計上）							
		式	1				
共通仮設費（率計上）							
		式	1				
純工事費							
		式	1				

設計内訳書（新木杭橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

設計内訳書（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事							
		式	1				
舗装工							
		式	1				
橋面防水工							
		式	1				
橋面防水	防水工種類：塗膜防水						単 9号
		m2	25				
材料費	橋梁用床版水抜き管						内 2号
		式	1				
舗装打換え工							
		式	1				
舗装版切断	舗装版種別：アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚：15cm以下						単 10号
		m	10				
舗装版破碎	舗装版種別：アスファルト舗装版，舗装版厚：5cm						単 11号
		m2	25				
殻運搬	殻種別：舗装版破碎						単 12号
		m3	1				
殻処分	殻種別：アスファルト殻						単 13号
		m3	1				
表層	材料種類：各種（2.30以上2.40t/m3未満），材料規格：密粒度As（13T）改質Ⅱ型，舗装厚：50mm，平均幅員：3.0m超						単 14号
		m2	25				
橋梁付属物工							
		式	1				
橋梁用高欄工							
		式	1				

設計内訳書（新前田沢橋）

工事名 令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁用高欄	材質:鋼製,高欄形式:橋梁用高欄(組立式)						単 15号
		m	11				
既設高欄撤去							単 16号
		m	11				
橋梁補修工							
		式	1				
橋梁地覆補修工							
		式	1				
橋梁地覆とりこわし							単 17号
		m3	0.9				
鉄筋	鉄筋規格:SD345 D13						単 18号
		t	0.13				
コンクリート 型枠工含む	形状寸法:B350×H550×L5260,コンクリート規格:24-12-25(20)-55%,コンクリート規格:普通コンクリート						単 19号
		m3	1.9				
コンクリートアンカー	本体打込み式コンクリートアンカー(M12×50)						単 20号
		本	80				
ひび割れ補修工							
		式	1				
低圧注入工法 上部工・下部工	1構造物当り補修延べ延長:25m未満,材料種類:エポキシ樹脂1種						単 21号 施工数量:1.85m/ 構造物
		構造物	1				
断面修復工							
		式	1				
左官工法 上部工・下部工	1構造物当り修復延べ体積:0.1m3未満,材料種類:ポリマーセメントモルタル,鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:有り						単 22号 施工数量:0.036m3 /構造物
		構造物	1				
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	Co殻(無筋)						単 23号
		m3	0.04				

設計内訳書（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
殻処分	Co殻(無筋)						単 24号
		m3	0.04				
遊離石灰除去 上部工・下部工							単 25号
		m2	28				
仮設工							
		式	1				
土留・仮締切工							
		式	1				
仮締切工	大型土のう						内 3号
		式	1				
交通管理工							
		式	1				
交通誘導警備員							単 26号
		人日					
直接工事費							
		式	1				
共通仮設							
		式	1				
共通仮設費							
		式	1				
現場環境改善費							
		式	1				
現場環境改善費（率計上）							
		式	1				
共通仮設費（率計上）							
		式	1				

設計内訳書（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
純工事費							
		式	1				
現場管理費							
		式	1				
工事原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				
工事価格							
		式	1				
消費税額及び地方消費税額							
		式	1				
工事費計							
		式	1				

一式当り内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	仮締切工	大型土のう					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
大型土のう工	製作・設置, 購入土, 5m以下, -3m<=H<=2m	袋	24				単 31号
大型土のう工	撤去, 6m以下, -3m<=H<=2m	袋	24				単 32号
積込(ルース)	土砂, 土量50,000m3未満	m3	24				
土砂等運搬	標準, バックホク山積0.8m3(平積0.6m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 2.5km以下	m3	14				
土砂等運搬	標準, バックホク山積0.8m3(平積0.6m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 6.5km以下	m3	10				
処分費 残土受入費		m3	14				
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	材料費	橋梁用床版水抜き管					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁用床版水抜き管 フレキシブルチューブ φ25		m	6				
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号		仮締切工		大型土のう					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要		
大型土のう工	設置(再設置含む), 6m以下, -3m<=H<=2m	袋	10				単 41号		
大型土のう工	撤去, 6m以下, -3m<=H<=2m	袋	10				単 42号		
高密度ポリエチレン管 φ500mm		m	10						
積込(ルース)	土砂, 土量50,000m3未満	m3	10						
土砂等運搬	標準, バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 49.5km以下	m3	10						
残土等処分		m3	10						
合計									

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	低圧注入工法	1構造物当り補修延べ延長:25m未満, 材料種類:エポキシ樹脂1種	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ひび割れ補修工(低圧注入工法)		25m未満, 0.025kg, 0.044kg, 2個	構造物	1			単 27号	
合計								
単価							円/構造物	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.34m3, 材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理:無し	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		無し, 0.1m3以上, 0.34m3	構造物	1			単 28号	
合計								
単価							円/構造物	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	Co殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		無し, 11.5km以下, 良好	m3	1			単 29号	
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	殻処分	Co殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 Co殻 無筋 2.35t/m3			m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	遊離石灰除去		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額	摘要
	下地処理工		m2	1				単 30号
	合計							
	単価							円/m2

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	吊足場	吊足場タイプ:A1・B,各養生シートを含む, 供用月数:0.9月	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	吊足場 タイプ A1		m2	1				
	床面シート張防護		m2	1				
	吊足場 タイプ B 朝顔(両側)		m2	1				
	吊足場 タイプ B 板張防護		m2	1				
	吊足場 タイプ B シート張防護		m2	1				
	合計							
	単価							円/m2

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	低圧注入工法	1構造物当り補修延べ延長:25m未満, 材料種類:エポキシ樹脂1種	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ひび割れ補修工(低圧注入工法)		25m未満, 0.128kg, 0.331kg, 15個	構造物	1			単 33号	
合計								
単価							円/構造物	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	遊離石灰除去		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
下地処理工			m2	1			単 34号	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	橋面防水	防水工種類:塗膜防水	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗膜系防水		補修,有,43.25m/100m2,有,43.25m/100m2,無	m 2	1			単 35号	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版,15cm以下,全ての費用	m	1				
合計								
単価							円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:5cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	殻運搬	殻種別:舗装版破碎	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎, 機械(騒音対策不要、厚15cm以下), 無し, 11.5km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	殻処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 36号	
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:密粒度As(13T)改質II型,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超,50mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),無し,全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	橋梁用高欄	材質:鋼製,高欄形式:橋梁用高欄(組立式)	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁用高欄		組立式	m	1				
合計								
単価							円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	既設高欄撤去		単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
高欄撤去			m	1				
スクラップ鉄 H3			t	0.03				
合計								
単価							円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	橋梁地覆とりこわし		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
とりこわし		全ての費用						
			m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	鉄筋	鉄筋規格:SD345 D13	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋		SD345 D13, 全ての費用						
			t	1				
合計								
単価							円/t	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	コンクリート	形状寸法:B350×H550×L5260,コンクリート規格:24-12-25(20)-55%,コンクリート規格:普通コンクリート	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		24-12-25(20)-55%,有り,全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 20号	コンクリートアンカー	本体打込み式コンクリートアンカー(M12×50)	単位	本	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
本体打込み式コンクリートアンカー M12×50			本	1				
合計								
単価							円/本	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 21号	低圧注入工法	1構造物当り補修延べ延長:25m未満, 材料種類:エポキシ樹脂1種	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ひび割れ補修工(低圧注入工法)		25m未満, 0.062kg, 0.161kg, 8個	構造物	1			単 37号	
合計								
単価							円/構造物	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 22号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.1m3未 満, 材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケ ン・鉄筋防錆処理:有り	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		有り, 0.1m3未満, 0.036m3	構造物	1			単 38号	
合計								
単価							円/構造物	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 23号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	Co殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		無し, 9.5km以下, 良好	m3	1			単 39号	
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 24号	殻処分	Co殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 40号	
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 25号	遊離石灰除去		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
下地処理工			m2	1			単 34号	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 26号	交通誘導警備員		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日				単 43号	
合計								
単価							円/人日	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 27号	ひび割れ補修工(低圧注入工法)	25m未満, 0.025kg, 0.044kg, 2個	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	注入材 ポキシ樹脂1種		kg	0.025				
	シール材 シール材		kg	0.06				
	材料費 低圧注入器具		個	2				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 28号	断面修復工(左官工法)	無し, 0.1m3以上, 0.34m3	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	材料費 ポリマーセメントモルタル		kg	0.401				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 29号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し, 11.5km以下, 良好	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	普通作業員		人					
	ダンプトラック運転	良好	日				単 44号	
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	合計							
	単価						円/m3	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 30号	下地処理工		単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	諸雑費		式	1				
	合計							
	単価						円/m2	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 31号	大型土のう工	製作・設置, 購入土, 5m以下, -3m<=H<=2m	単位	袋	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	大型土のう袋材 H=1.08m W=1.1m		袋	10				
	購入土 山砂 不洗		m3	10				
	バックホ(クローラ型)運転	製作・設置, 5m以下, -3m<=H<=2m	日					単 45号
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/袋

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 32号	大型土のう工	撤去, 6m以下, -3m<=H<=2m	単位	袋	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	バックホウ(クローラ型)運転	撤去, 6m以下, -3m<=H<=2m	日					単 46号
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/袋

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 33号	ひび割れ補修工(低圧注入工法)	25m未満, 0.128kg, 0.331kg, 15個	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	注入材 ポキシ樹脂1種		kg	0.128				
	シール材 シール材		kg	0.453				
	材料費 低圧注入器具		個	15				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 34号	下地処理工		単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価						円/m2	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 36号	処分費(m3)	無	単位	m3	単位数量	100	単価
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As殻 2.35t/m3		m3	100				
合計							
単価							円/m3

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 37号	ひび割れ補修工(低圧注入工法)	25m未満, 0.062kg, 0.161kg, 8個	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	注入材 ポキシ樹脂1種		kg	0.062				
	シール材 シール材		kg	0.221				
	材料費 低圧注入器具		個	8				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 38号	断面修復工(左官工法)	有り, 0.1m3未満, 0.036m3	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	材料費 ポリマーセメントモルタル		kg	0.042				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 40号	処分費(m3)	無	単位	m3	単位数量	100	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	処分費 Co殻 無筋 2.35t/m3		m3	100			
	合計						
	単価						円/m3

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 41号	大型土のう工	設置(再設置含む), 6m以下, -3m<=H<=2m	単位	袋	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	普通作業員		人					
	ハックホリ(クローラ型)運転	設置(再設置含む), 6m以下, -3m<=H<=2m	日					単 47号
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/袋

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 42号	大型土のう工	撤去, 6m以下, -3m<=H<=2m	単位	袋	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人					
	特殊作業員		人					
	バックホウ(クローラ型)運転	撤去, 6m以下, -3m<=H<=2m	日					単 48号
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/袋

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 43号	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B		人					
	合計							
	単価						円/人日	

3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 44号	名称・規格	条件	単位	日	単位数量	金額	単価	摘要
	ダンプトラック運転	良好					1	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
	運転手(一般)		人					
	軽油		L	19.2				
	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級	機械条件:供用 持込	供用日					
	代損耗費 4t積級 良好 供用日		供用日					
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	合計							
	単価						円/日	

3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 45号	ハックホウ(クローラ型)運転	製作・設置, 5m以下, -3m<=H<=2m	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手(特殊)		人					
	軽油		L	63				
	ハックホウ(クローラ)後方超小旋回クレーン 山積0.45m3(平積0.35m3)吊2.9t		日					
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/日

3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 46号	ハックホウ(クローラ型)運転	撤去, 6m以下, -3m<=H<=2m	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手(特殊)		人					
	軽油		L	101				
	ハックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊		日					
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/日

3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 47号	ハックホウ(クローラ)運転	設置(再設置含む), 6m以下, -3m<=H<=2m	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
運転手(特殊)		人						
軽油		L	99					
ハックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付き] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊		日						
諸雑費(まるめ)		式	1					
合計								
単価							円/日	

3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 48号	ハックホウ(クローラ)運転	撤去, 6m以下, -3m<=H<=2m	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手(特殊)		人					
	軽油		L	101				
	ハックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付き] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊		日					
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/日

【参考資料】積算入力データリスト（新堰場2号橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回/今回 入力条件	単価 前回/今回	金額 前回/今回	摘要
橋梁保全工事 (0001)	式	1			
橋梁補修工 (0002)	式	1			
ひび割れ補修工 (0003)	式	1			
低圧注入工法 (0004) 下部工	構造物	1			第0001号単価表 単位数量 1 構造物 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
	Q01 1構造物当り補修延べ延長区分	25m未満			
	Q02 1構造物当り補修延べ延長	25m未満			
	Q04 材料種類	エポキシ樹脂1種			
	Q05 低圧注入工法費	ひび割れ補修工(低圧注入工法)			
					週休2日補正 補正なし
ひび割れ補修工(低圧注入工法)	構造物	1			WB229110 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
	J01 1構造物当り補修延べ延長区分	25m未満			
	J03 1構造物当り注入材使用量(実数)	0.025kg			
	J04 1構造物当りシール材設計量(実数)	0.044kg			
	J05 1構造物当低圧注入器具使用量(実)	2個			
					単価補正
断面修復工 (0005)	式	1			
左官工法 (0006) 上部工・下部工	構造物	1			第0002号単価表 単位数量 1 構造物 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05
	Q01 1構造物当り修復延べ体積区分	0.1m3以上			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新堰場2号橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
Q03 1構造物当り修復延べ体積 Q04 材料種類 Q05 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 Q06 左官工法費		0.34m3 ポリマーセメントモルタル 無し 断面修復工(左官工法)			単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
断面修復工(左官工法)	構造物	1			WB229210 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
J01 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無 J02 1構造物当り修復延べ体積区分 J03 1構造物当り修復延べ体積(実数)		無し 0.1m3以上 0.34m3			第0003号単価表 単位数量 1 m3 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) (0007)	m3	0.3			WB229220 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
Q01 コンクリート殻積込・運搬費		コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)			WB229220 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	m3	1			オプション入力 第0004号単価表 単位数量 1 m3
J01 DID区間の有無 J02 運搬距離 J04 ダンプトラックタイヤ損耗費		無し 11.5km以下 良好			
殻処分 (0008)	m3	0.3			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新堰場2号橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
					管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
処分費 Co殻 無筋 2.35t/m3	m3	1			Y007600000003 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
遊離石灰除去 (0009)上部工・下部工	m2	6			オプション入力 第0005号単価表 単位数 1 m2 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
下地処理工	m2	1			DR431400 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新堰場2号橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
仮設工 (0010)	式	1			
橋梁補修用足場工 (0011)	式	1			オプション入力
吊足場 (0012)	m2	30			オプション入力 第0006号単価表 単位数 1 m2 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
吊足場 タイプ A1	m2	1			ZZ99*01*01002 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
床面シート張防護	m2	1			ZZ99*01*01003 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
吊足場 タイプ B 朝顔(両側)					ZZ99*01*01004

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新堰場2号橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
	m2	1			管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
吊足場 タイ°B 板張防護	m2	1			ZZ99*01*01005 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
吊足場 タイ°B シート張防護	m2	1			ZZ99*01*01006 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
土留・仮締切工 (0013)	式	1			
仮締切工 (0014)	式	1			オプション入力 第0001号内訳書 単位数 1 式 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新堰場2号橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回/今回 入力条件	単価 前回/今回	金額 前回/今回	摘要
大型土のう工	袋	24			週休2日補正 補正なし WB252730 管理費区分 0
J01 作業区分		製作・設置			歩 2026.05 単 2026.05
J02 袋詰土区分		購入土			単価地区 大崎市（旧古川市）
J03 設置作業半径		5m以下			労調係数 1.000 00-00 0
J04 設置面高さ(H)		-3m<=H<=2m			単価補正
大型土のう工	袋	24			WB252730 管理費区分 0
J01 作業区分		撤去			歩 2026.05 単 2026.05
J03 設置作業半径		6m以下			単価地区 大崎市（旧古川市）
J04 設置面高さ(H)		-3m<=H<=2m			労調係数 1.000 00-00 0
積込(ルーズ)	m3	24			単価補正 CB210020 管理費区分 0
J01 土質		土砂			歩 2026.05 単 2026.05
J02 作業内容		土量50,000m3未満			単価地区 大崎市（旧古川市）
土砂等運搬	m3	14			単価補正 CB210110 管理費区分 0
J01 土砂等発生現場		標準			歩 2026.05 単 2026.05
J02 積込機種・規格		バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)			単価地区 大崎市（旧古川市）
J03 土質		土砂(岩塊・玉石混り土含む)			労調係数 1.000 00-00 0
J04 DID区間の有無		無し			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新堰場2号橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
J05 運搬距離(km) (DID区間無)		22.5km以下			単価補正
土砂等運搬	m3	10			CB210110 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
J01 土砂等発生現場		標準			
J02 積込機種・規格		バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)			
J03 土質		土砂(岩塊・玉石混り土含む)			
J04 DID区間の有無		無し			
J05 運搬距離(km) (DID区間無)		6.5km以下			単価補正
処分費 残土受入費	m3	14			Y007600000001 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
直接工事費 (0015)	式	1			単価補正
共通仮設 (0016)	式	1			
共通仮設費 (0017)	式	1			
現場環境改善費 (0018)	式	1			
現場環境改善費（率計上） (0019)	式	1			
市街地補正	市街地以外				

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新堰場2号橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
共通仮設費（率計上） (0020)	式	1			
主たる工種	12:橋梁保全工事				
施工地域等補正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）	1.0			
除雪工事補正	未使用		1.00		
ICT施工補正	補正なし		1.0		
週休2日補正	補正なし		1.00		
復興係数補正	あり		1.3		
実績変更対象費（積上げ）					
純工事費 (0021)	式	1			
現場管理費 (0022)	式	1			
施工地域等補正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）	1.0			
工期日数（熱中症補正）	0日間				
真夏日日数	0日間				
補正係数	補正なし		0.00		
熱中症補正	自動設定		0.00%		
工期日数	0日間				
冬期日数	0日間				
積雪寒冷地区分	補正なし		0.00%		
施工時期補正	自動設定		0.00%		
緊急工事補正	補正なし		0.00%		
砂防・地滑り補正	補正なし		0.00%		
ICT施工補正	補正なし		1.0		
週休2日補正	補正なし		1.00		
復興係数補正	あり		1.1		
実績変更対象費（積上げ）					
工事原価 (0023)	式	1			
一般管理費等					

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新堰場2号橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
(0024)	式	1			
前払金支出割合による補正	補正を行わない		1.00		
財団法人等による補正	補正を行わない		1.00		
契約保証に係る補正率	金銭的保証		0.04%		
工事価格 (0025)	式	1			
消費税額及び地方消費税額 (0026)	式	1			
工事費計 (0027)	式	1			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新木杭橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
橋梁保全工事 (0001)	式	1			
橋梁補修工 (0002)	式	1			
ひび割れ補修工 (0003)	式	1			
低圧注入工法 (0004) 下部工	構造物	1			第0007号単価表 単位数 1 構造物 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
		Q01 1構造物当り補修延べ延長区分 Q02 1構造物当り補修延べ延長 Q04 材料種類 Q05 低圧注入工法費	25m未満 25m未満 エポキシ樹脂1種 ひび割れ補修工(低圧注入工法)		
ひび割れ補修工(低圧注入工法)	構造物	1			WB229110 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
		J01 1構造物当り補修延べ延長区分 J03 1構造物当り注入材使用量(実数) J04 1構造物当りシール材設計量(実数) J05 1構造物当り低圧注入器具使用量(実)	25m未満 0.128kg 0.331kg 15個		
断面修復工 (0005)	式	1			
遊離石灰除去 (0006) 下部工	m2	1			オプション入力 第0008号単価表 単位数 1 m2 管理費区分 0

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新木杭橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
					歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
下地処理工	m2	1			WB431400 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
直接工事費 (0007)	式	1			
共通仮設 (0008)	式	1			
共通仮設費 (0009)	式	1			
現場環境改善費 (0010)	式	1			
現場環境改善費（率計上） (0011)	式	1			
	市街地補正	市街地以外			
共通仮設費（率計上） (0012)	式	1			
	主たる工種 施工地域等補正	12:橋梁保全工事 補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）		1.0	

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新木杭橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
除雪工事補正	未使用		1.00		
ICT施工補正	補正なし		1.0		
週休2日補正	補正なし		1.00		
復興係数補正	あり		1.3		
実績変更対象費（積上げ）					
純工事費 (0013)	式	1			
現場管理費 (0014)	式	1			
施工地域等補正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）			1.0	
工期日数（熱中症補正）	0日間				
真夏日日数	0日間				
補正係数	補正なし		0.00		
熱中症補正	自動設定		0.00%		
工期日数	0日間				
冬期日数	0日間				
積雪寒冷地区分	補正なし		0.00%		
施工時期補正	自動設定		0.00%		
緊急工事補正	補正なし		0.00%		
砂防・地滑り補正	補正なし		0.00%		
ICT施工補正	補正なし		1.0		
週休2日補正	補正なし		1.00		
復興係数補正	あり		1.1		
実績変更対象費（積上げ）					
工事原価 (0015)	式	1			
一般管理費等 (0016)	式	1			
前払金支出割合による補正	補正を行わない		1.00		
財団法人等による補正	補正を行わない		1.00		
契約保証に係る補正率	金銭的保証		0.04%		

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新木杭橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
工事価格 (0017)	式	1			
消費税額及び地方消費税額 (0018)	式	1			
工事費計 (0019)	式	1			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
橋梁保全工事 (0001)	式	1			
舗装工 (0002)	式	1			
橋面防水工 (0003)	式	1			
橋面防水 (0004)	m2	25			第0009号単価表 単位数量 1 m2 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
	Q01 防水工種類	塗膜防水			
	Q02 橋面防水費	塗膜系防水 [市場単価]			
塗膜系防水	m 2	1			WB812920 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
	J01 作業区分	補修			
	J02 床版排水(ドレ-)材の有無	有			
	J03 床版排水(ドレ-)材数量(実数)	43.25m/100m2			
	J04 目地材の有無	有			
	J05 目地材数量(実数入力)	43.25m/100m2			
	J08 夜間作業補正	無			単価補正
材料費 (0005)	式	1			オプション入力 第0002号内訳書 単位数量 1 式 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
橋梁用床版水抜き管 フレキシブルチューブ φ25	m	6			週休2日補正 補正なし ZZ99*01*01007 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
舗装打換え工 (0006)	式	1			
舗装版切断 (0007) (P)	m	10			第0010号単価表 単位数量 1 m 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
Q01 舗装版種別		アスファルト舗装版			
Q02 アスファルト舗装版厚		15cm以下			
Q05 舗装版切断費		舗装版切断			
舗装版切断	m	1			CB430510 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
J01 舗装版種別		アスファルト舗装版			
J02 アスファルト舗装版厚		15cm以下			
J05 費用の内訳		全ての費用			
舗装版破碎 (0008) (P)	m2	25			第0011号単価表 単位数量 1 m2

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
					管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
舗装版種別	Q01	舗装版種別	アスファルト舗装版		
舗装版厚	Q02	舗装版厚	5cm		
破碎費	Q03	破碎費	舗装版破碎		
舗装版破碎		m2	1		CB430310 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
舗装版種別	J01	舗装版種別	アスファルト舗装版		
障害等の有無	J02	障害等の有無	無し		
騒音振動対策	J03	騒音振動対策	不要		
舗装版厚	J04	舗装版厚	15cm以下		
積込作業の有無	J06	積込作業の有無	有り		
費用の内訳	J07	費用の内訳	全ての費用		
殻運搬 (0009) (P)		m3	1		第0012号単価表 単位数量 1 m3 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
殻種別	Q01	殻種別	舗装版破碎		
殻運搬費	Q02	殻運搬費	殻運搬		
殻運搬		m3	1		CB227010 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
殻発生作業	J01	殻発生作業	舗装版破碎		
積込工法区分	J02	積込工法区分	機械（騒音対策不要、厚15cm以下）		
DID区間の有無	J03	DID区間の有無	無し		
運搬距離(km) (DID区間無)	J07	運搬距離(km) (DID区間無)	11.5km以下		
費用の内訳	J13	費用の内訳	全ての費用		
殻処分					第0013号単価表

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
(0010)	m3	1			単位数量 1 m3 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
Q01 穀種別		アスファルト殻			
Q02 処分費		処分費(m3)			
処分費(m3)	m3	1			WB020051 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
J01 産廃税の有無		無			
表層 (0011) (P)	m2	25			第0014号単価表 単位数量 1 m2 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
Q01 歩車道区分		車道・路肩			
Q02 材料種類		各種(2.30以上2.40t/m3未満)			
Q03 材料規格		密粒度As(13T)改質Ⅱ型			
Q04 舗装厚		50mm			
Q05 平均幅員		3.0m超			
Q07 施工費		表層(車道・路肩部)			
Q08 急速施工費		計上しない			
表層(車道・路肩部)	m2	1			CB410260 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
J01 平均幅員		3.0m超			
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下		50mm			
J05 材料		各種(2.30以上2.40t/m3未満)			
J06 瀝青材料種類		無し			
J07 費用の内訳		全ての費用			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
橋梁付属物工 (0012)	式	1			単価補正
橋梁用高欄工 (0013)	式	1			
橋梁用高欄 (0014) (P)	m	11			第0015号単価表 単位数量 1 m 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
		Q01 材質 Q02 高欄形式 Q03 橋梁用高欄設置費	鋼製 橋梁用高欄（組立式） 橋梁用高欄		
橋梁用高欄	m	1			CB422740 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
		J01 設置方法	組立式		
既設高欄撤去 (0015)	m	11			単価補正 オプション入力 第0016号単価表 単位数量 1 m 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
高欄撤去	m	1			週休2日補正 補正なし CB224910 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
スクラップ 鉄 H3	t	0.03			ZZ99*01*01008 管理費区分 9 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正 -1.000
橋梁補修工 (0016)	式	1			
橋梁地覆補修工 (0017)	式	1			
橋梁地覆とりこわし (0018) (P)	m3	0.9			第0017号単価表 単位数量 1 m3 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
	Q01	とりこわし費	とりこわし		週休2日補正 補正なし
とりこわし					CB431710

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
J01 費用の内訳	m3	1			管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
鉄筋 (0019) (P)	t	0.13			第0018号単価表 単位数量 1 t 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
Q01 鉄筋規格		SD345 D13			
Q03 鉄筋費		鉄筋			
鉄筋	t	1			CB431720 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
J01 鉄筋規格		SD345 D13			
J02 費用の内訳		全ての費用			
コンクリート (0020) (P) 型枠工含む	m3	1.9			第0019号単価表 単位数量 1 m3 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
Q01 形状寸法		B350×H550×L5260			
Q02 コンクリート規格		24-12-25(20)-55%			
Q03 コンクリート規格		普通コンクリート			
Q04 コンクリート費		コンクリート			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回/今回 入力条件	単価 前回/今回	金額 前回/今回	摘要
コンクリート	m3	1			CB431730 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
J01 コンクリート規格		24-12-25(20)-55%			
J02 養生工の有無		有り			
J03 費用の内訳		全ての費用			
コンクリートアンカー (0021)	本	80			単価補正 オプション入力 第0020号単価表 単位数量 1 本 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
本体打込み式コンクリートアンカー M12×50	本	1			週休2日補正 補正なし ZZ99*01*01001 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
ひび割れ補修工 (0022)	式	1			単価補正
低圧注入工法 (0023)上部工・下部工	構造物	1			第0021号単価表 単位数量 1 構造物 管理費区分 0
Q01 1構造物当り補修延べ延長区分		25m未満			歩 2026.05 単 2026.05

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
Q02 1構造物当り補修延べ延長 Q04 材料種類 Q05 低圧注入工法費		25m未満 エポキシ樹脂1種 ひび割れ補修工(低圧注入工法)			単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
ひび割れ補修工(低圧注入工法)	構造物	1			WB229110 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
J01 1構造物当り補修延べ延長区分 J03 1構造物当り注入材使用量(実数) J04 1構造物当りシール材設計量(実数) J05 1構造物当り低圧注入器具使用量(実)		25m未満 0.062kg 0.161kg 8個			
断面修復工 (0024)	式	1			
左官工法 (0025)上部工・下部工	構造物	1			第0022号単価表 単位数 1 構造物 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
Q01 1構造物当り修復延べ体積区分 Q02 1構造物当り修復延べ体積 Q04 材料種類 Q05 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 Q06 左官工法費		0.1m3未満 0.1m3未満 ポリマーセメントモルタル 有り 断面修復工(左官工法)			
断面修復工(左官工法)	構造物	1			WB229210 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
J01 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無 J02 1構造物当り修復延べ体積区分 J03 1構造物当り修復延べ体積(実数)		有り 0.1m3未満 0.036m3			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
コンクリート殻積込・運搬（断面修復工） (0026)	m3	0.04			第0023号単価表 単位数量 1 m3 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
----- Q01 コンクリート殻積込・運搬費			コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）		
コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）	m3	1			WB229220 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
J01 DID区間の有無		無し			
J02 運搬距離		9.5km以下			
J04 タンク・トラックタイヤ損耗費		良好			
殻処分 (0027)	m3	0.04			オプション入力 第0024号単価表 単位数量 1 m3 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
処分費(m3)	m3	1			WB020051 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
J01 産廃税の有無		無し			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
遊離石灰除去 (0028) 上部工・下部工	m2	28			単価補正 オプション入力 第0025号単価表 単位数 1 m2 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 補正なし
下地処理工	m2	1			WB431400 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
仮設工 (0029)	式	1			
土留・仮締切工 (0030)	式	1			
仮締切工 (0031)	式	1			オプション入力 第0003号内訳書 単位数 1 式 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
大型土のう工	袋	10			週休2日補正 補正なし
J01 作業区分		設置(再設置含む)			WB252730
J03 設置作業半径		6m以下			管理費区分 0
J04 設置面高さ(H)		-3m<=H<=2m			歩 2026.05 単 2026.05
					単価地区 大崎市(旧古川市)
					労調係数 1.000 00-00 0
					単価補正
大型土のう工	袋	10			WB252730
J01 作業区分		撤去			管理費区分 0
J03 設置作業半径		6m以下			歩 2026.05 単 2026.05
J04 設置面高さ(H)		-3m<=H<=2m			単価地区 大崎市(旧古川市)
					労調係数 1.000 00-00 0
					単価補正
高密度ポリエチレン管 φ500mm	m	10			ZZ99*01*01009
					管理費区分 0
					歩 2026.05 単 2026.05
					単価地区 大崎市(旧古川市)
					労調係数 1.000 00-00 0
					単価補正
積込(ルース)	m3	10			CB210020
J01 土質		土砂			管理費区分 0
J02 作業内容		土量50,000m3未満			歩 2026.05 単 2026.05
					単価地区 大崎市(旧古川市)
					労調係数 1.000 00-00 0

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
土砂等運搬	m3	10			単価補正 CB210110 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
J01 土砂等発生現場		標準			
J02 積込機種・規格		バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)			
J03 土質		土砂(岩塊・玉石混り土含む)			
J04 DID区間の有無		無し			
J05 運搬距離(km)(DID区間無)		49.5km以下			
残土等処分	m3	10			単価補正 CB210560 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
交通管理工 (0032)	式	1			単価補正
交通誘導警備員 (0033)	人日				第0026号単価表 単位数量 1 人日 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
Q01 交通誘導警備員費		交通誘導警備員B			週休2日補正 補正なし
交通誘導警備員B	人日				WB010212 管理費区分 0 歩 2026.05 単 2026.05

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
					単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
直接工事費 (0034)	式	1			
共通仮設 (0035)	式	1			
共通仮設費 (0036)	式	1			
現場環境改善費 (0037)	式	1			
現場環境改善費（率計上） (0038)	式	1			
	市街地補正	市街地以外			
共通仮設費（率計上） (0039)	式	1			
	主たる工種	12:橋梁保全工事			
	施工地域等補正	一般交通影響有り（2）-1		1.4	
	除雪工事補正	未使用		1.00	
	ICT施工補正	補正なし		1.0	
	週休2日補正	補正なし		1.00	
	復興係数補正	あり		1.3	
	実績変更対象費（積上げ）				
純工事費 (0040)	式	1			
現場管理費					

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

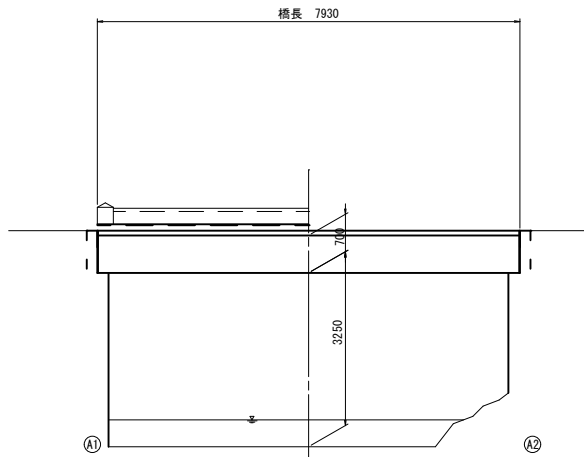
【参考資料】積算入力データリスト（新前田沢橋）

工事名	事業区分	道路維持・修繕			
令和8年度 市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事					
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
(0041)	式	1			
施工地域等補正	一般交通影響有り（2）-1		1.2		
工期日数（熱中症補正）	0日間				
真夏日日数	0日間				
補正係数	補正なし		0.00		
熱中症補正	自動設定		0.00%		
工期日数	0日間				
冬期日数	0日間				
積雪寒冷地区分	補正なし		0.00%		
施工時期補正	自動設定		0.00%		
緊急工事補正	補正なし		0.00%		
砂防・地滑り補正	補正なし		0.00%		
ICT施工補正	補正なし		1.0		
週休2日補正	補正なし		1.00		
復興係数補正	あり		1.1		
実績変更対象費（積上げ）					
工事原価 (0042)	式	1			
一般管理費等 (0043)	式	1			
前払金支出割合による補正	補正を行わない		1.00		
財団法人等による補正	補正を行わない		1.00		
契約保証に係る補正率	金銭的保証		0.04%		
工事価格 (0044)	式	1			
消費税額及び地方消費税額 (0045)	式	1			
工事費計 (0046)	式	1			

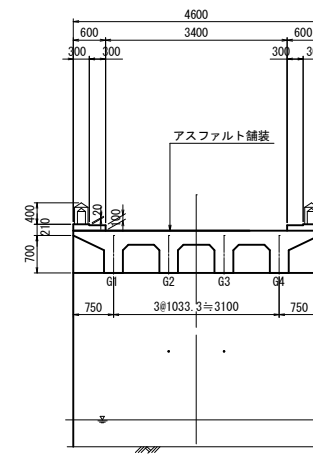
※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

新堰場2号橋 現況一般図 S=1:50

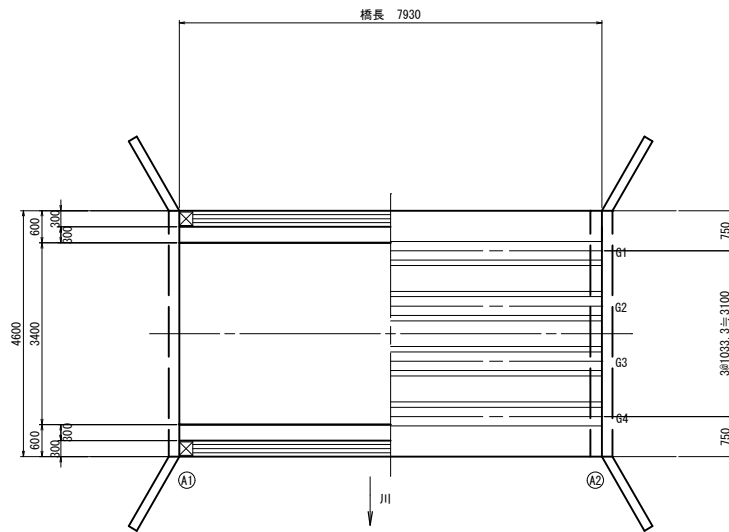
側面図



断面図



平面図



橋梁諸元	
橋長	L=7.900m
桁長	—
有効幅員	W=3.400m
橋格	不明
形式	RCT桁橋
平面線形	R=∞
斜角	90°
上部工形式	RCT桁橋
下部工形式	橋台(その他)
基礎形式	不明
舗装	アスファルト舗装
竣工	不明
適用方書	不明

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。

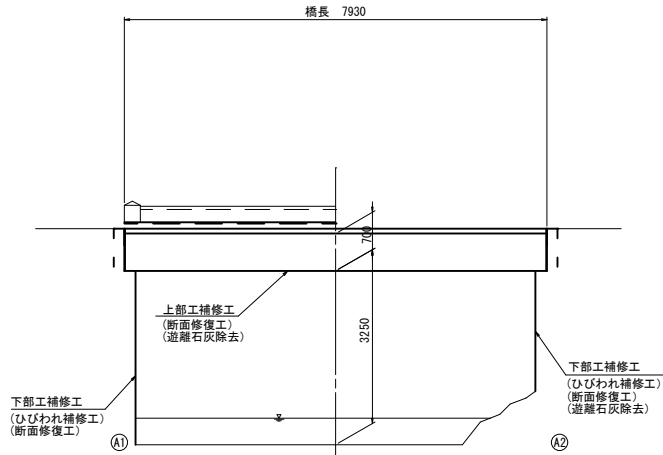
※実施

工事番号	2026000644	
路線名	市道長岡線	
施工地名	大崎市古川長岡字新堰場地先	
工事名	市道長岡線外2路線(新堰場2号橋外2橋)橋梁修繕工事	
図面名	新堰場2号橋	現況一般図
縮尺	S=1:50	位置
設計者		設計年度
大崎市建設部建設課		図審

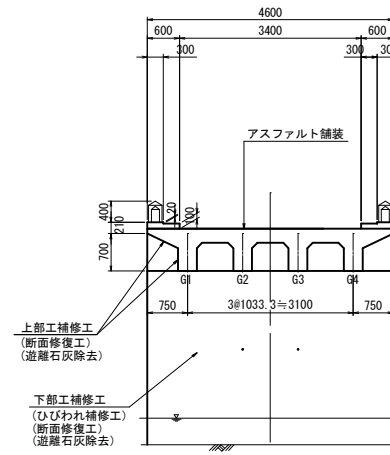
新堰場2号橋 補修一般図

S=1:50

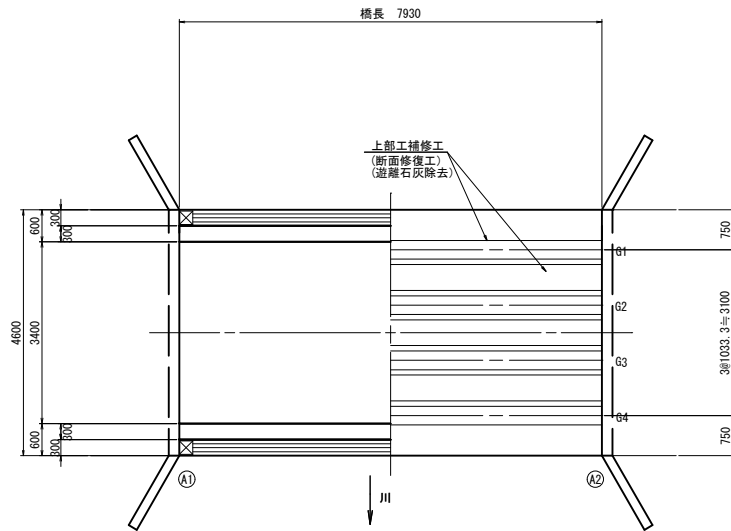
側面図



断面図



平面図



工種	部位又は細別	補修項目
上部工補修工	主桁、横桁	断面補修工、遊離石灰除去
下部工補修工	A1、A2	ひびわれ補修工、断面補修工、遊離石灰除去

注記

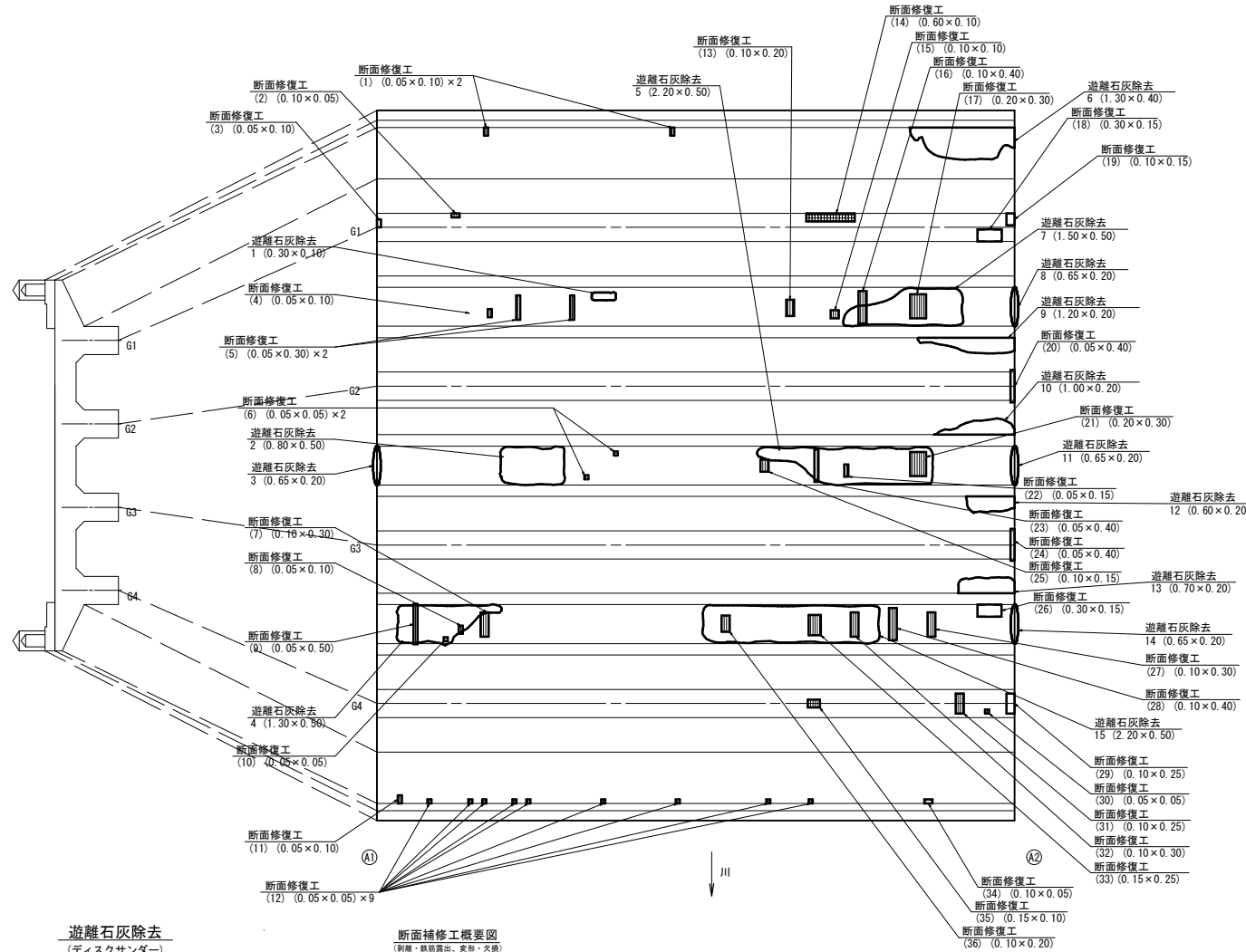
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。

※全部施工につき着色省略

工事番号	2026000644	
路線名	市道長岡線	
施工地名	大崎市古川長岡字新堰場地先	
工事名	市道長岡線外2路線（新堰場2号橋外2橋）橋梁修繕工事	
図面名	新堰場2号橋 補修一般図	
縮尺	S=1:50	位置
設計者		設計年度
大崎市建設部建設課		図審

新堰場2号橋 上部工補修工図 S=1:30

桁下面



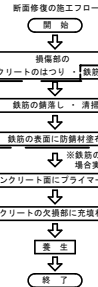
工法	寸法	数量
断面修復工 防錆態	(3) 0.05 m × 0.10 m × 0.05 m	= 0.0003 m ³
	(18) 0.30 m × 0.15 m × 0.05 m	= 0.0023 m ³
	(19) 0.10 m × 0.15 m × 0.05 m	= 0.0008 m ³
	(20) 0.05 m × 0.40 m × 0.05 m	= 0.0010 m ³
	(24) 0.05 m × 0.40 m × 0.05 m	= 0.0010 m ³
	(26) 0.30 m × 0.15 m × 0.05 m	= 0.0023 m ³
	(29) 0.10 m × 0.25 m × 0.05 m	= 0.0013 m ³
	(34) 0.10 m × 0.05 m × 0.05 m	= 0.0003 m ³
	計	= 0.0093 m ³

工法	寸法	数量
断面修復工 防錆有	(1) 0.05 m × 0.10 m × 0.05 m × 2	= 0.0005 m ³
	(2) 0.10 m × 0.05 m × 0.05 m	= 0.0003 m ³
	(4) 0.05 m × 0.10 m × 0.05 m	= 0.0003 m ³
	(5) 0.05 m × 0.30 m × 0.05 m × 2	= 0.0015 m ³
	(6) 0.05 m × 0.05 m × 0.05 m × 2	= 0.0003 m ³
	(7) 0.10 m × 0.30 m × 0.05 m	= 0.0015 m ³
	(8) 0.05 m × 0.10 m × 0.05 m	= 0.0003 m ³
	(9) 0.05 m × 0.50 m × 0.05 m	= 0.0013 m ³
	(10) 0.05 m × 0.05 m × 0.05 m	= 0.0001 m ³
	(11) 0.05 m × 0.10 m × 0.05 m	= 0.0003 m ³
	(12) 0.05 m × 0.05 m × 0.05 m × 9	= 0.0011 m ³
	(13) 0.10 m × 0.20 m × 0.05 m	= 0.0010 m ³
	(14) 0.60 m × 0.10 m × 0.05 m	= 0.0030 m ³
	(15) 0.10 m × 0.10 m × 0.05 m	= 0.0005 m ³
	(16) 0.10 m × 0.40 m × 0.05 m	= 0.0020 m ³
	(17) 0.20 m × 0.30 m × 0.05 m	= 0.0030 m ³
	(21) 0.20 m × 0.30 m × 0.05 m	= 0.0004 m ³
	(22) 0.05 m × 0.15 m × 0.05 m	= 0.0003 m ³
	(23) 0.05 m × 0.40 m × 0.05 m	= 0.0010 m ³
	(25) 0.10 m × 0.15 m × 0.05 m	= 0.0008 m ³
	(27) 0.10 m × 0.30 m × 0.05 m	= 0.0015 m ³
	(28) 0.10 m × 0.40 m × 0.05 m	= 0.0020 m ³
	(30) 0.05 m × 0.05 m × 0.05 m	= 0.0001 m ³
	(31) 0.10 m × 0.25 m × 0.05 m	= 0.0013 m ³
	(32) 0.10 m × 0.30 m × 0.05 m	= 0.0015 m ³
	(33) 0.15 m × 0.25 m × 0.05 m	= 0.0019 m ³
	(35) 0.15 m × 0.10 m × 0.05 m	= 0.0008 m ³
	(36) 0.10 m × 0.20 m × 0.05 m	= 0.0010 m ³
	計	= 0.0323 m ³

工法	寸法	数量
遊離石灰除去	1 0.30 m × 0.10 m	= 0.03 m ²
	2 0.80 m × 0.50 m	= 0.40 m ²
	3 0.65 m × 0.20 m	= 0.13 m ²
	4 1.30 m × 0.50 m	= 0.65 m ²
	5 2.20 m × 0.50 m	= 1.10 m ²
	6 1.30 m × 0.40 m	= 0.52 m ²
	7 1.50 m × 0.50 m	= 0.75 m ²
	8 0.65 m × 0.20 m	= 0.13 m ²
	9 1.20 m × 0.20 m	= 0.24 m ²
	10 1.00 m × 0.20 m	= 0.20 m ²
	11 0.65 m × 0.20 m	= 0.13 m ²
	12 0.60 m × 0.20 m	= 0.12 m ²
	13 0.70 m × 0.20 m	= 0.14 m ²
	14 0.65 m × 0.20 m	= 0.13 m ²
	15 2.20 m × 0.50 m	= 1.10 m ²
計	= 5.77 m ²	

遊離石灰除去 (ディスクサンダー)

断面補修工概要図 (制縦・鉄筋露出、変形・欠損)



材料表

工種	仕様
鋼材防錆処理工	リン酸塗料・有機酸・キレート剤等
下地処理工	ポリマーセメント系ベース材
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

防錆材品質

耐アルカリ性試験	変異に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8 N/mm ² 以上

ポリマーセメント系モルタル品質

項目	ポリマーセメントモルタル
単位容積質量	1.8~2.2 kg/l
フロア	120~160
硬化時間	0.5~8時間
圧縮強度	24 N/mm ² 以上
付着強度	1.8~3.4 N/mm ²
凍結耐性	1.6~3.0 N/mm ²
弾性係数	13~21 kN/mm ²
引張強度	3~6 N/mm ²
収縮率	200~1000 (×10 ⁻⁵)
熱膨張率	8~15 (×10 ⁻⁵ /°C)

※出典：コンクリートライブラリー 表面保護工法 設計施工冊子(案) H17.4 (土木学会)

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰	
剥離		漏水	
鉄筋露出		その他	

注記

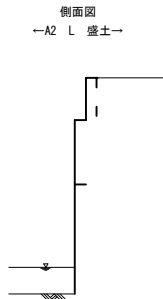
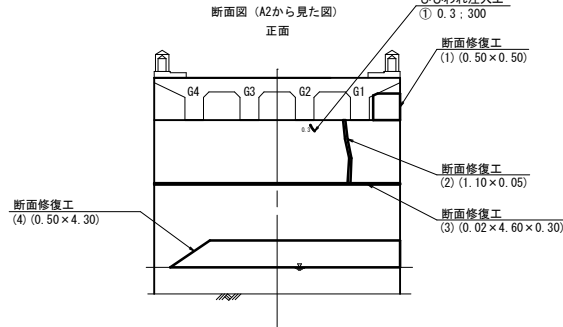
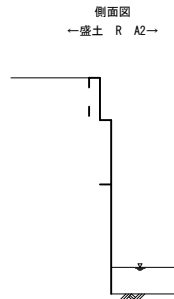
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 断面補修工法および寸法は、調査結果により算出しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。
4. 断面修復深さは鉄筋腐食状況により異なる。

※全部施工につき着色省略

工事番号	2026000644	
路線名	市道長岡線	
施工地名	大崎市古川長岡新堰場地先	
工事名	市道長岡線外2線(新堰場2号橋外2線)橋梁補修工事	
図面名	新堰場2号橋 上部工補修工図	位置
縮尺	S=1:30	設計年度
設計	大崎市建設部建設課	図番

新堰場2号橋 下部工補修工図 S=1:50

A1 橋台



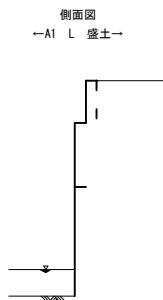
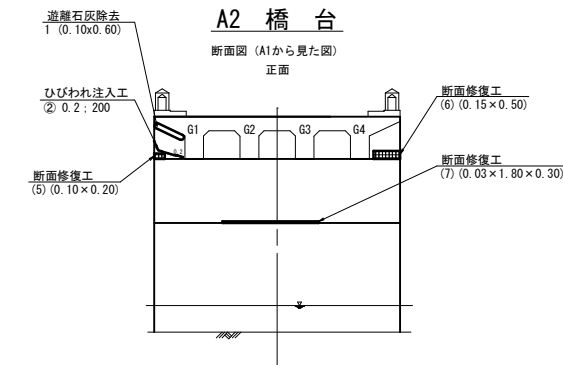
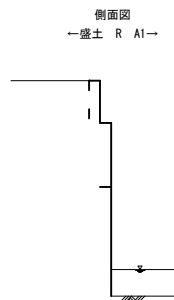
ひびわれ注入工 数量表

工法	ひびわれ長さ	数量
①	L= 0.30 m	0.30 m
②	L= 0.20 m	0.20 m
	計 =	0.50 m

断面修復工 数量表

工法	寸法	数量
(1)	0.50 m × 0.50 m × 0.10 m	= 0.0250 m ³
(3)	0.02 m × 4.60 m × 0.30 m	= 0.0276 m ³
(4)	0.50 m × 4.30 m × 0.10 m	= 0.2150 m ³
(7)	0.03 m × 1.80 m × 0.30 m	= 0.0162 m ³
	計 =	0.2838 m ³

A2 橋台



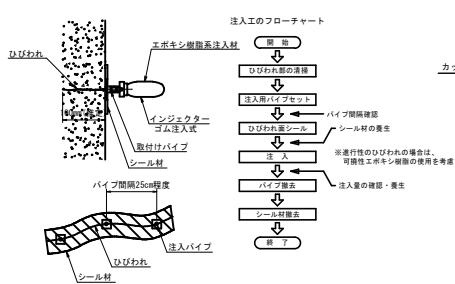
断面修復工 数量表

工法	寸法	数量
(2)	1.10 m × 0.05 m × 0.10 m	= 0.0055 m ³
(5)	0.10 m × 0.20 m × 0.10 m	= 0.0020 m ³
(6)	0.15 m × 0.50 m × 0.10 m	= 0.0075 m ³
	計 =	0.0150 m ³

遊離石灰除去 数量表

工法	寸法	数量
1	0.10 m × 0.60 m	= 0.06 m ²
	計 =	0.10 m ²

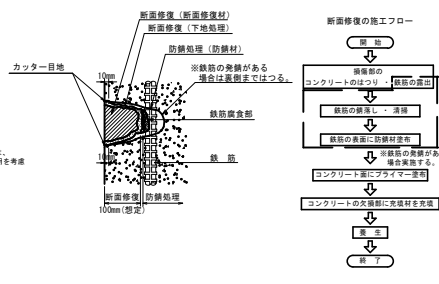
ひびわれ注入工
(ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)
(注入圧が 0.4MPa 以下の低圧低速注入工法)



材料表

工種	仕様
注入材	可塑性エポキシ樹脂

断面修復工
(剝離・鉄筋露出・変形・欠損)



材料表

工種	仕様
床材防錆処理工	リン酸塩系・有機酸・キレート化剤等
下地処理工	ポリマーセメント系ペースト材
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

防錆材品質

耐アルカリ性試験	試験に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8 N/mm ² 以上

ポリマーセメント系モルタル品質

単位容積質量	1.8~2.2 kg/l
フロー	120~160
硬化時間	0.5~3時間
圧縮強度	24 N/mm ² 以上
付着強さ	標準 1.8~3.4 N/mm ² 過剰除去し 1.6~3.0 N/mm ²
引張強度	12~21 N/mm ²
引張弾性率	3~4 N/mm ²
収縮率	200~1000 (×10 ⁻⁵)
熱膨張率	8~15 ×10 ⁻⁶ /℃

※出典: コンクリートラフライヤー 表面保護工法 設計施工指南 (第) H17.4 (土木学会)

遊離石灰除去
(ディスクサンダー)



損傷の凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰	
剝離		漏水	
鉄筋露出		その他	

※全部施工につき着色省略

工事番号	202600644	
路線名	市道長岡線	
施工地名	大崎市古川長岡新堰場地先	
工事名	市道長岡線外2箇所(新堰場2号橋外2箇所)橋梁補修工事	
図面名	新堰場2号橋 下部工補修工図	
縮尺	S=1:50	位置
設計者	設計年度	
大崎市建設部建設課	図審	

- 注記
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 - 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 断面補修工法および寸法は、調査結果により算出しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。
 - 断面修復深さは鉄筋腐食状況により異なる。

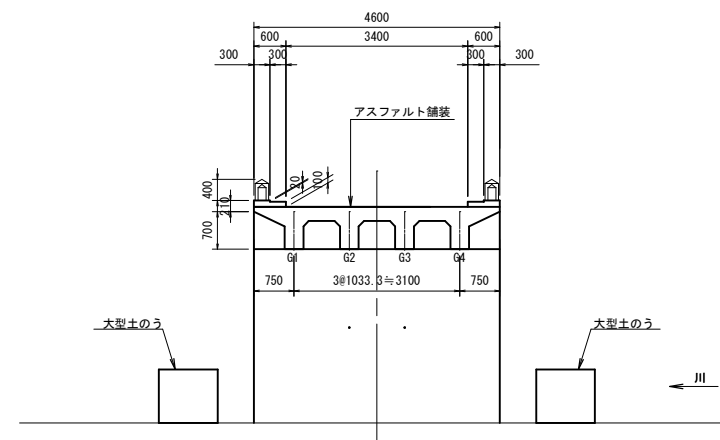
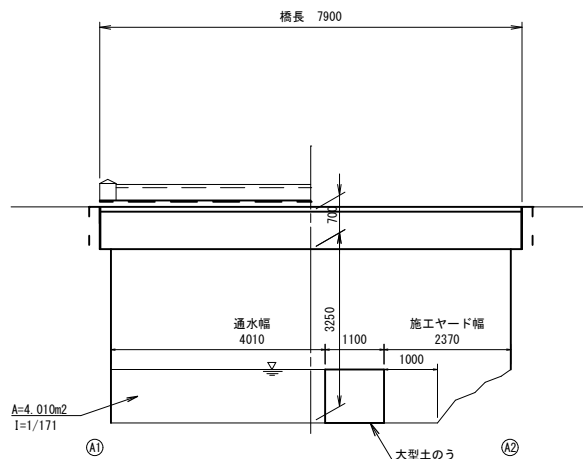
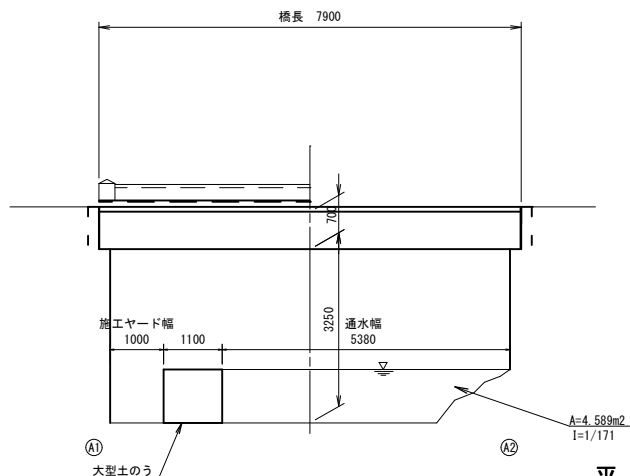
新堰場2号橋 仮締切工図 (参考図) S=1:50

側面図

断面図

A1橋台補修時

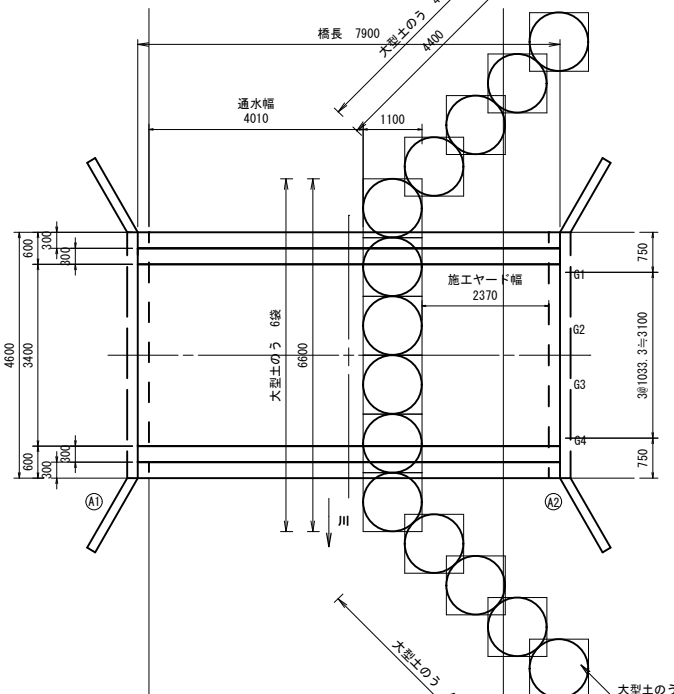
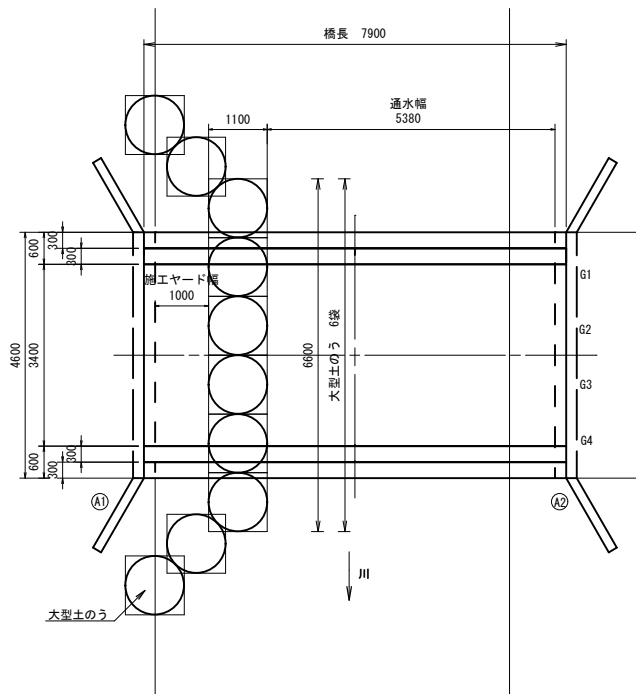
A2橋台補修時



平面図

A1橋台補修時

A2橋台補修時



仮締切工施工フロー



大型土のう数量

A1側施工時(φ1100×H1000) N=10袋
 A2側施工時(φ1100×H1000) N=14袋
 ΣN=24袋

※実 施

工事番号	2026000644	
路線名	市道長岡線	
施工地名	大崎市古川長岡字新堰場地先	
工事名	市道長岡線外2箇所(新堰場2号橋外2箇所)橋梁修繕工事	
図面名	新堰場2号橋 仮締切工図(参考図)	
縮尺	S=1:50	位置
設計者	大崎市建設部建設課	設計年度
図番		

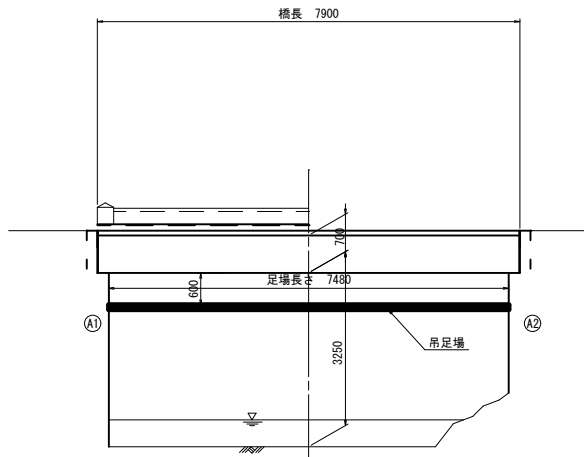
注記

1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
2. 大型土のうは透水シートで養生し、水の浸透を防ぐこと。

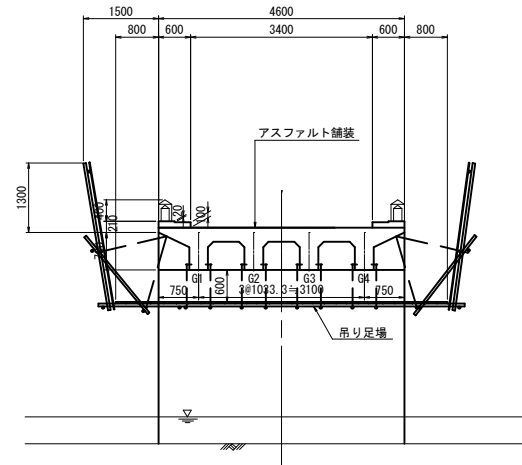
新堰場2号橋 足場工図 (参考図)

S=1:50

側面図

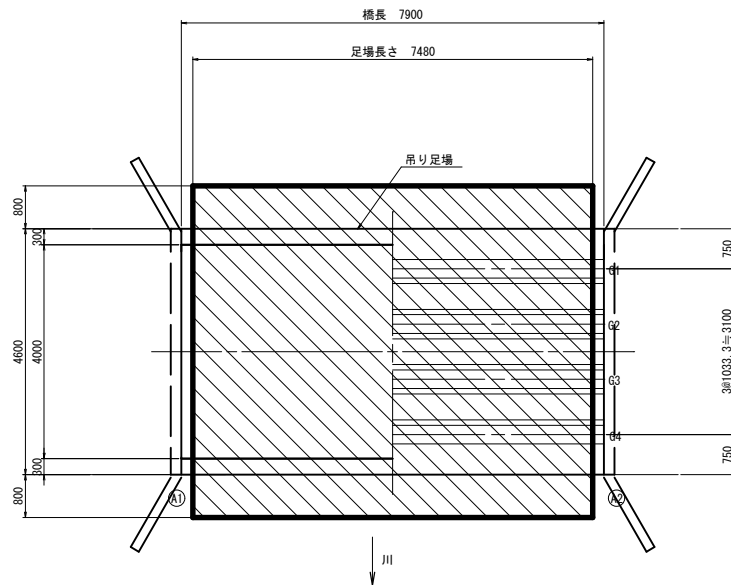


断面図



吊金具参考数量 = 7.480/1.90m/列
= 4.156 ⇒ 5列
⇒ 5列 × 10本/列 = 50本

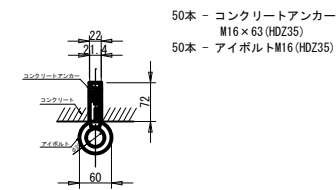
平面図



仮設足場工 数量

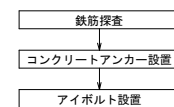
吊り足場	1径間	34.4	m ²
	合計	34.4	m ²

吊金具 S=1:5



50本 - コンクリートアンカー
M16 × 63 (HDZ35)
50本 - アイボルトM16 (HDZ35)

コンクリートアンカー設置フロー



※コンクリートアンカーとアイボルトは施工後撤去すること。
アンカー設置時には鉄筋探査を実施すること。
アンカーの打ち込み、アイボルト取付の順で行う。

※吊金具本数は一般的な概数であり、工事発注時には吊り足場上の
施工時重量を算出うえ、設置本数を算出すること。

注記)

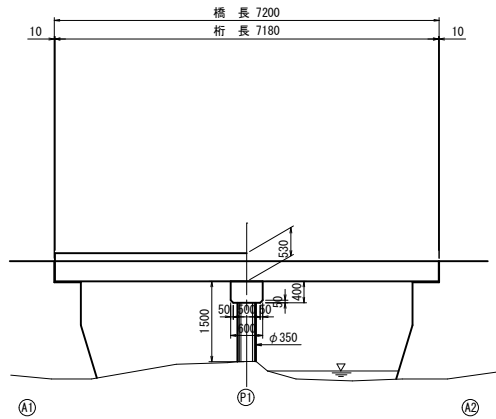
1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。

※実施

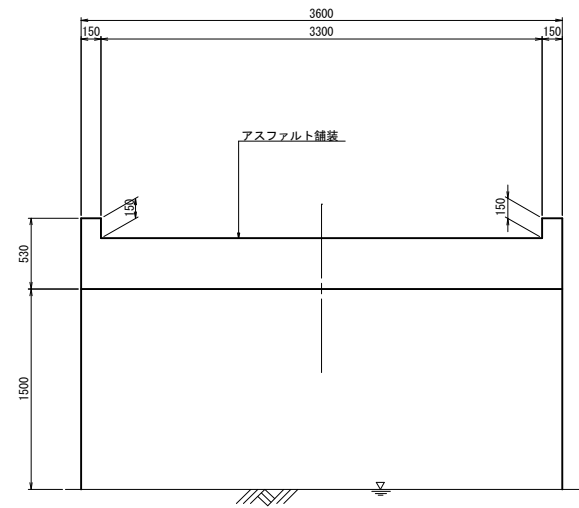
工事番号	2026000644		
路線名	市道長岡線		
施工地名	大崎市古川長岡字新堰場地先		
工事名	市道長岡線外2線線 (新堰場2号橋外2橋) 橋梁修繕工事		
図面名	新堰場2号橋 足場工図 (参考図)	位置	
縮尺	S=1:50	設計	
設計者		年度	
大崎市建設部建設課		図番	

新木杭橋 現況一般図

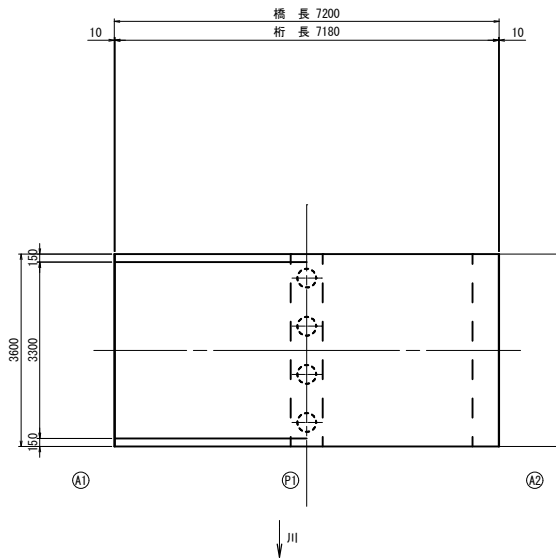
側面図 S=1:50



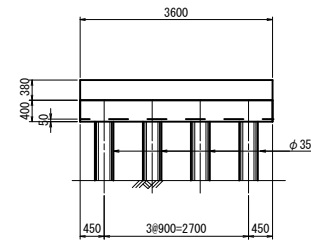
断面図 S=1:20



側面図 S=1:50



P1橋脚正面図 S=1:50



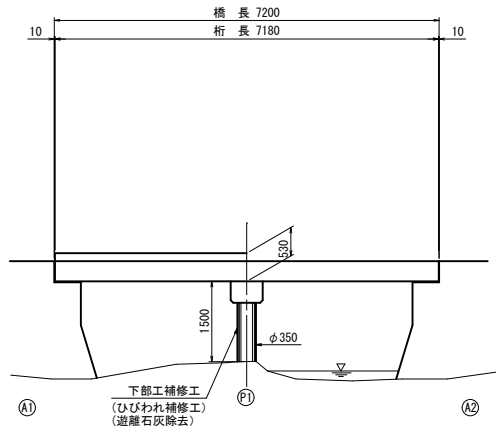
橋梁諸元	
橋長	L=7.200m
桁長	L=7.180m
有効幅員	W=3.300m
橋格	不明
形式	RC床版橋
平面線形	R=∞
斜角	90°
上部工形式	RC床版橋
下部工形式	橋台(その他)、橋脚(その他・パイルベント)
基礎形式	不明
舗装	アスファルト舗装
竣工	不明
適用方書	不明

注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。

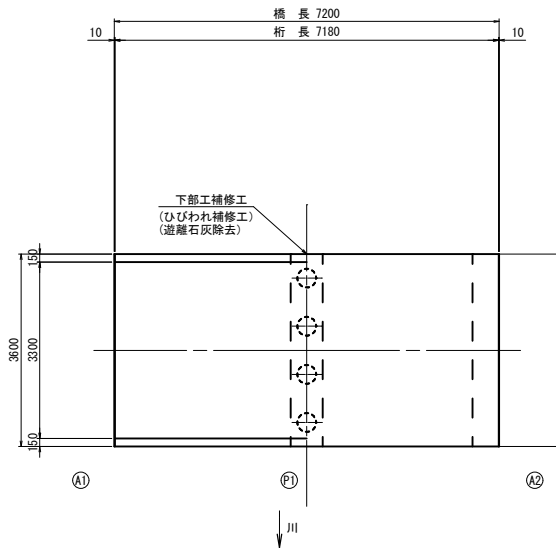
※実施	
工事番号	2026000644
路線名	市道枇椀沢中屋敷線
施工地名	大崎市古川北宮沢字新木杭地先
工事名	市道長尾線外2箇所(新環線2号橋外2箇所)橋梁修繕工事
図面名	新木杭橋 現況一般図
縮尺	図示
設計者	位置
設計年度	設計年度
大崎市建設部建設課	図審

新木杭橋 補修一般図

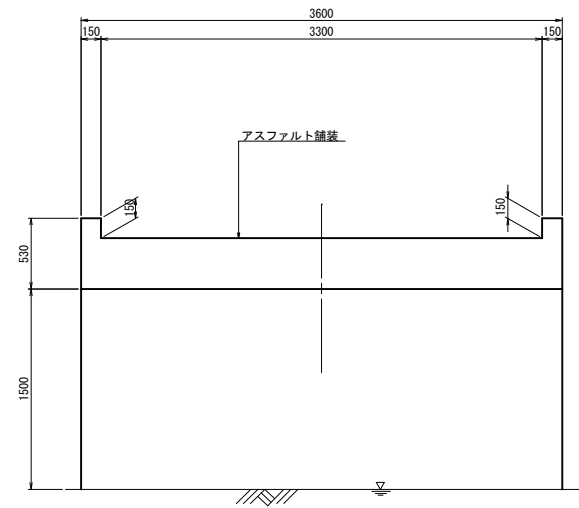
側面図 S=1:50



側面図 S=1:50



断面図 S=1:20



補修・補強項目一覧表

工種	部位 又は 細別	補修項目
下部工補修工	P1	ひびわれ補修工、遊離石灰除去

注記

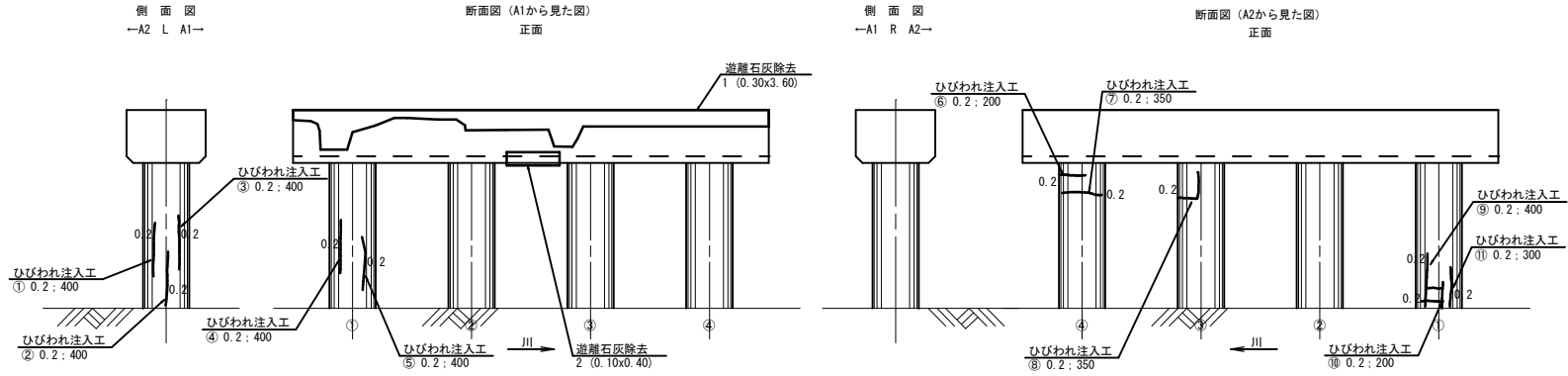
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 施工時に作業の安全を確保するため、若干足元の不陸を修正するものとする。

※全部施工につき着色省略

工事番号	2026000664	
路線名	市道枇杷沢中屋敷線	
施工地名	大崎市古川北宮沢字新木杭地先	
工事名	市道長岡線外2線 (新環線2号橋外2橋) 橋梁修繕工事	
図面名	新木杭橋 補修一般図	
縮尺	図示	位置
設計者		設計年度
大崎市建設部建設課		図審

新木杭橋 下部工補修工図 S=1:20

P1 橋脚

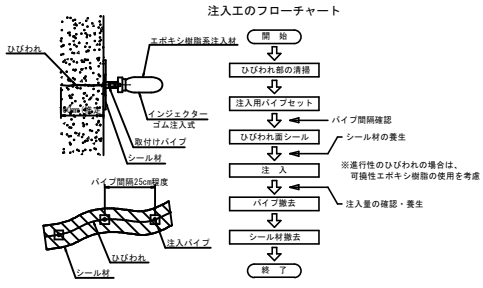


ひびわれ注入工 数量表

工法	ひびわれ長さ	数量
ひびわれ注入工	① L= 0.40 m =	0.40 m
	② L= 0.40 m =	0.40 m
	③ L= 0.40 m =	0.40 m
	④ L= 0.40 m =	0.40 m
	⑤ L= 0.40 m =	0.40 m
	⑥ L= 0.20 m =	0.20 m
	⑦ L= 0.35 m =	0.35 m
	⑧ L= 0.35 m =	0.35 m
	⑨ L= 0.40 m =	0.40 m
	⑩ L= 0.20 m =	0.20 m
	⑪ L= 0.30 m =	0.30 m
計 =		3.60 m

ひびわれ注入工

(ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)
(注入圧が0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



遊離石灰除去

(ディスクサンダー)



遊離石灰除去 数量表

工法	寸 法	数量
遊離石灰除去	1 0.30 m × 3.60 m =	1.08 m ²
	2 0.10 m × 0.40 m =	0.04 m ²
計 =		1.12 m ²

損傷の凡例					
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ	〰	遊離石灰	○	うき	○
剥離	○	漏水	○		
鉄筋露出	○	その他	○		

※全部施工につき着色省略

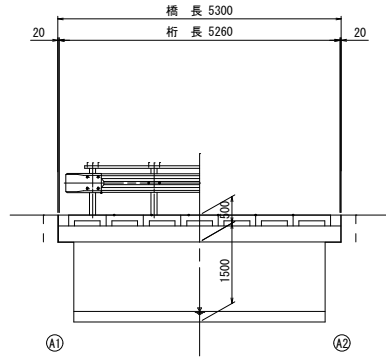
工事番号	2026000644		
路線名	市道根柢中屋敷線		
施工地名	大崎市古川北宮沢字新木杭地先		
工事名	市道根柢外2線 (新橋幅2m橋外2線) 橋梁修繕工事		
図面名	新木杭橋 下部工補修工図		
縮 尺	S=1:20	位置	
設 計 者		設計	
		年度	
大崎市建設部建設課		図番	

- 注記
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 - 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 断面補修工法および寸法は、調査結果により算出しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。
 - 断面修復深さは鉄筋腐食状況により異なる。

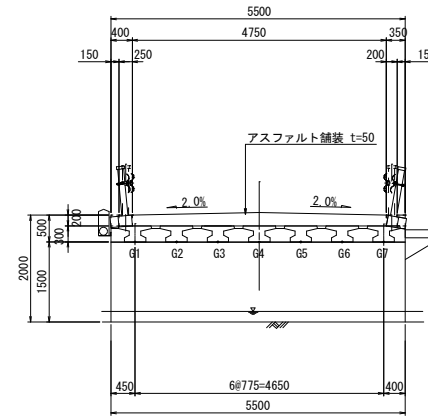
新前田沢橋 現況一般図

S=1:50

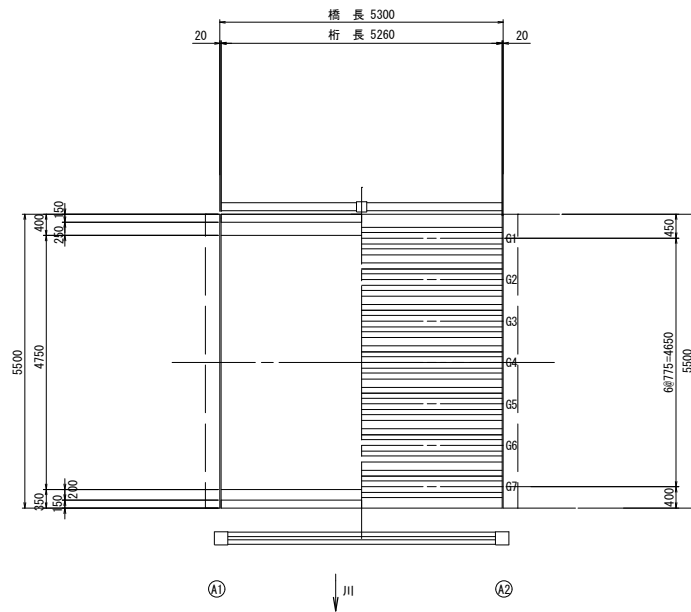
側面図



断面図



平面図



橋梁諸元	
橋長	L=5,300m
桁長	L=5,260m
有効幅員	W=4,750m
橋格	不明
形式	プレテンT桁橋
平面線形	R=∞
斜角	90°
上部工形式	プレテンT桁橋
下部工形式	橋台(その他)
基礎形式	不明
舗装	アスファルト舗装
竣工	不明
適用示方書	不明

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。

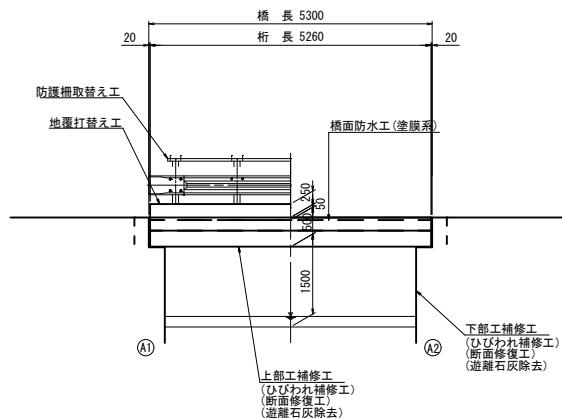
※実施

工事番号	2026000644	
路線名	市道木杭柳堤線	
施工地名	大崎市古川北宮沢字袖沢 地先	
工事名	市道長岡線外2線(新道線2号橋外2橋)橋梁修繕工事	
図面名	新前田沢橋	現況一般図
縮尺	S=1:50	位置
設計者		設計年度
大崎市建設部建設課		図審

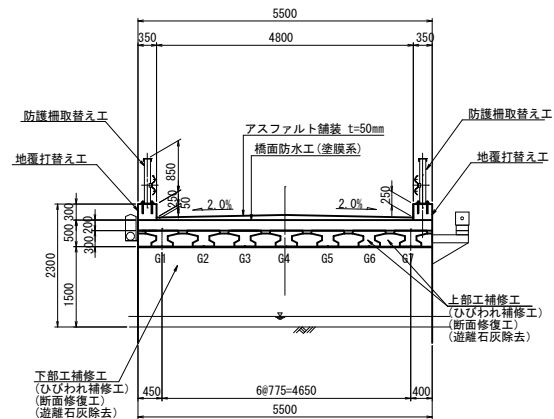
新前田沢橋 補修一般図

S=1:50

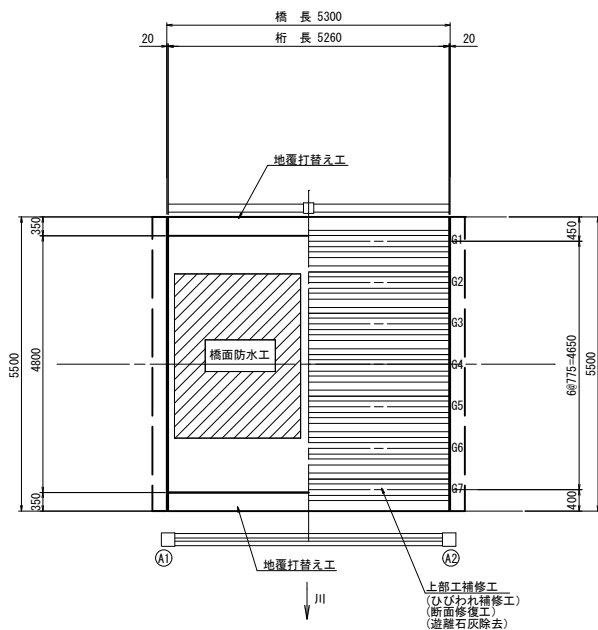
側面図



断面図



平面図



補修・補強項目一覧表		
工種	部位又は細別	補修項目
上部工補修工	主桁、横桁	ひびわれ補修工、断面補修工、遊離石灰除去
下部工補修工	A2	ひびわれ補修工、断面補修工、遊離石灰除去
地覆打替え工	左右全て	
橋面防水工	塗膜防水、舗装打換え	
防護柵取替え工	左右全て	

注記

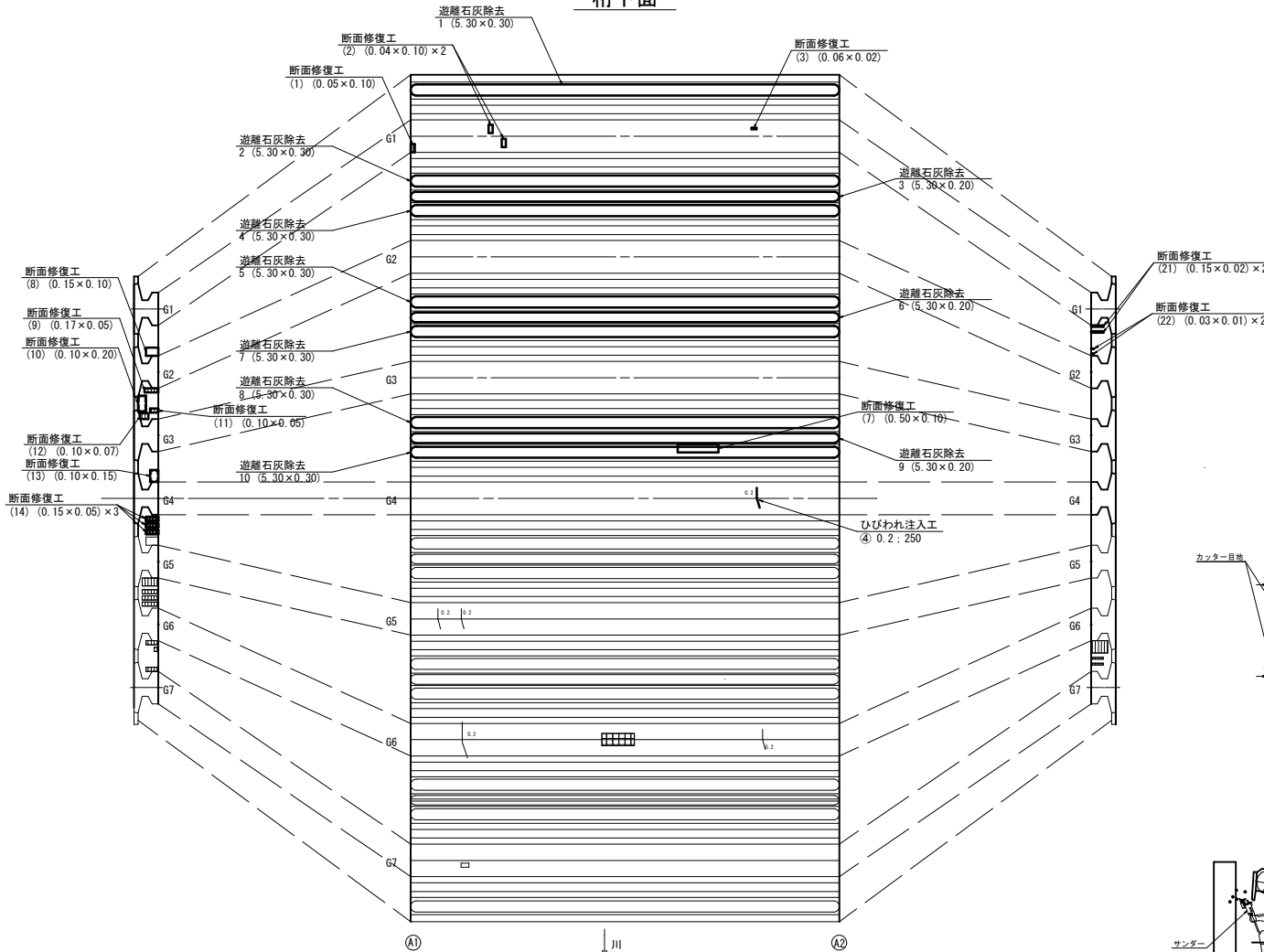
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。

※全部施工につき着色省略

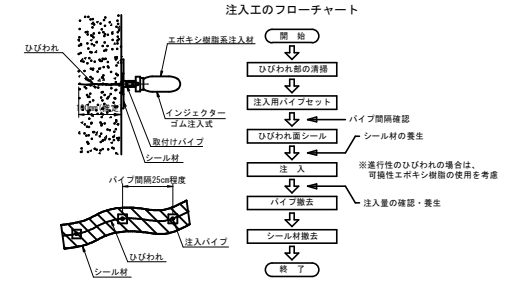
工事番号	202600644	
路線名	市道木杭柳堤線	
施工地名	大崎市古川北宮沢字袖沢 地先	
工事名	市道養田線外2線(新堤堰1号橋外2橋)橋梁修繕工事	
図面名	新前田沢橋 補修一般図	
縮尺	S=1:50	位置
設計者		設計年度
大崎市建設部建設課		図審

新前田沢橋 上部工補修工図(その1) S=1:30

桁下面



ひびわれ注入工
(ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)

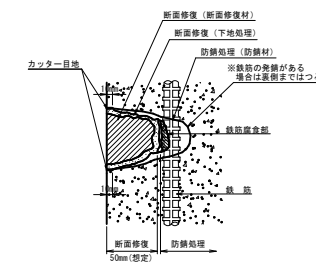


材料表

工種	仕様
注入材	可塑性エポキシ樹脂

断面修復工

(剝離・鉄筋露出、うき、変形・欠損)



遊離石灰除去

(ディスクサンダー)

遊離石灰除去の施工フロー



材料表

工種	仕様
損材防錆処理工	リン酸塗料・有機酸・キレート化剤等
下地処理工	ポリマーセメント系ペースト材
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

防錆材品質
新アルカリ性試験 塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験 7.8 N/mm² 以上

ポリマーセメント系モルタル品質

項目	ポリマーセメントモルタル
単位容積質量	1.8~2.2 kg/l
フロー	120~160
硬化時間	0.5~6時間
圧縮強度	24 N/mm ² 以上
付着強度	標準 1.8~3.4 N/mm ² 逆冷経達し 1.6~3.0 N/mm ²
弾性係数	13~21 kN/mm ²
引張強度	3~6 N/mm ²
収縮率	200~1000 (×10 ⁻⁵)
熱膨張率	8~15 ×10 ⁻⁶ /°C

※出典：コンクリートライブラリー 表面保護工法 設計施工指針(案) H17.4(土木学会)

損傷の凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ	〰	遊離石灰	○	うき	○
剝離	○	漏水	○		
鉄筋露出	○	その他	○		

- 注記
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 - 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 断面補修工法および寸法は、調査結果により算出しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。
 - 断面修復深さは鉄筋腐食状況により異なる。

※全部施工につき着色省略

工事番号	202600644		
路線名	市道木杭柳堤線		
施工地名	大崎市古川北宮沢字袖沢 地先		
工事名	市道長岡橋外2線(新橋架け替え)橋架け替え工事		
図面名	新前田沢橋 上部工補修工図		
縮尺	S=1:30	位置	
設計者		設計年度	
大崎市建設部建設課		図章	

断面修復工 数量表

工法	寸法	数量
(1)	0.50m × 0.10m × 0.05m	= 0.0025 m ³
(8)	0.15m × 0.10m × 0.05m	= 0.0008 m ³
(9)	0.17m × 0.05m × 0.05m	= 0.0004 m ³
(10)	0.10m × 0.20m × 0.05m	= 0.0010 m ³
(11)	0.10m × 0.05m × 0.05m	= 0.0003 m ³
(12)	0.10m × 0.07m × 0.05m	= 0.0004 m ³
(13)	0.10m × 0.15m × 0.05m	= 0.0008 m ³
(14)	0.15m × 0.05m × 0.05m × 3	= 0.0011 m ³
(21)	0.15m × 0.02m × 0.05m × 2	= 0.0003 m ³
(22)	0.03m × 0.01m × 0.05m × 2	= 0.0001 m ³
		計 = 0.0077 m ³

遊離石灰除去 数量表

工法	寸法	数量
1	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
2	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
3	5.30m × 0.20m	= 1.06 m ²
4	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
5	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
6	5.30m × 0.20m	= 1.06 m ²
7	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
8	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
9	5.30m × 0.20m	= 1.06 m ²
10	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
		計 = 14.31 m ²

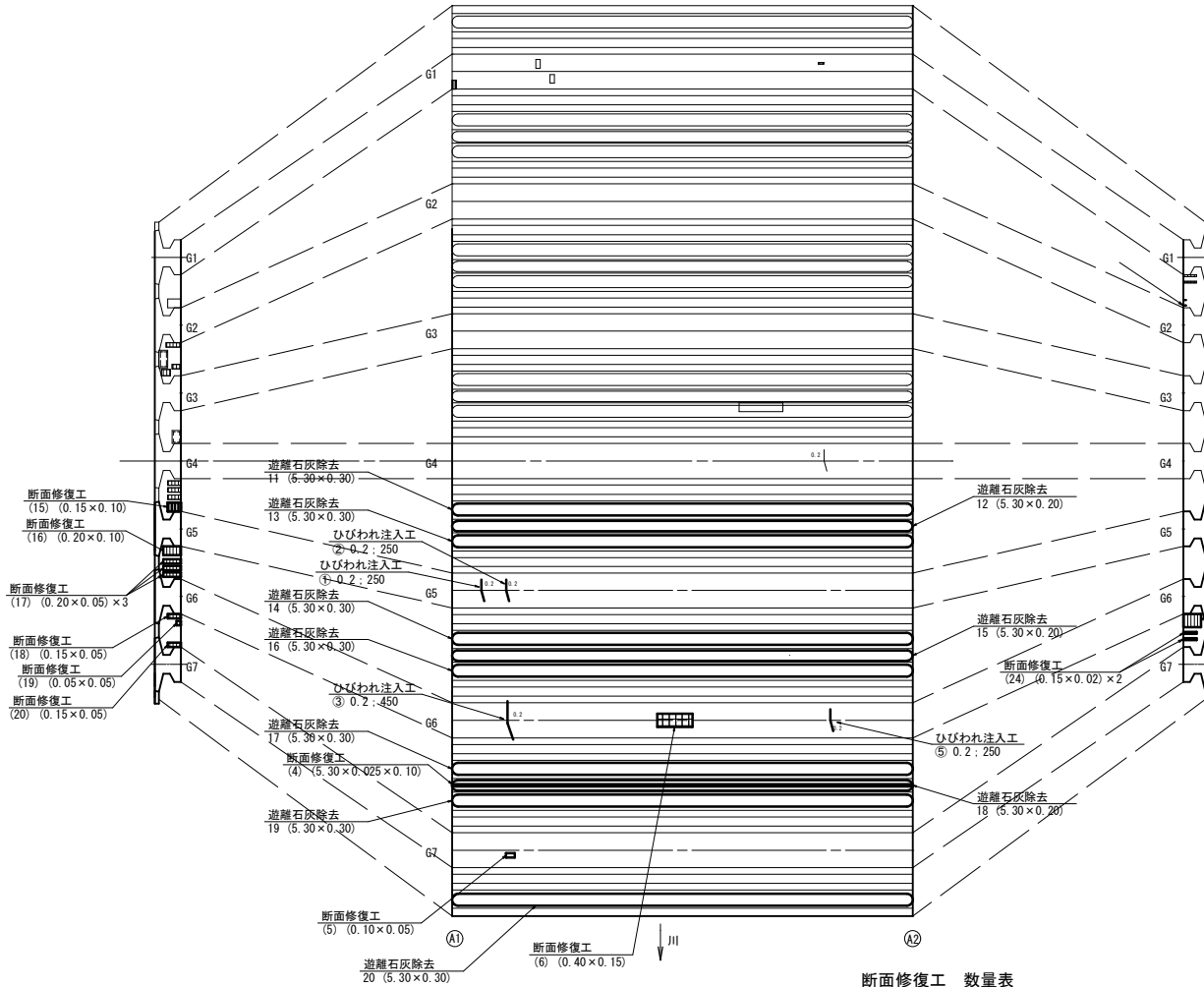
ひびわれ注入工 数量表

工法	ひびわれ長さ	数量
④	L= 0.25m	= 0.25 m
		計 = 0.25 m

断面修復工 数量表

工法	寸法	数量
(2)	0.04m × 0.10m × 0.05m × 2	= 0.0004 m ³
(3)	0.06m × 0.02m × 0.05m	= 0.0001 m ³
(7)	0.50m × 0.10m × 0.05m	= 0.0025 m ³
		計 = 0.0030 m ³

桁下面



ひびわれ注入工 数量表

工法	ひびわれ長さ	数量
ひびわれ注入工	① L= 0.25m	= 0.25 m
	② L= 0.25m	= 0.25 m
	③ L= 0.45m	= 0.45 m
	④ L= 0.25m	= 0.25 m
	⑤ L= 0.25m	= 0.25 m
		計 = 1.45 m

断面修復工 数量表

工法	寸法	数量
断面修復工 (防錆工)	(5) 0.10m × 0.05m × 0.05m	= 0.0003 m ³
	計 = 0.0033 m ³	

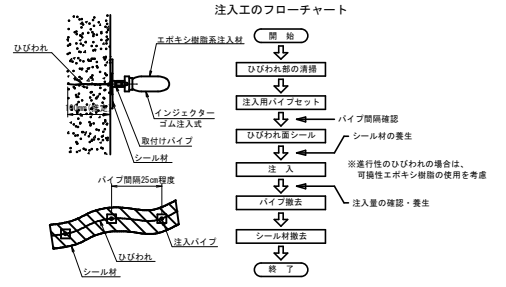
断面修復工 数量表

工法	寸法	数量
(4)	5.30m × 0.03m × 0.10m	= 0.0133 m ³
(6)	0.40m × 0.15m × 0.05m	= 0.0030 m ³
(15)	0.15m × 0.10m × 0.05m	= 0.0008 m ³
(16)	0.20m × 0.10m × 0.05m	= 0.0010 m ³
(17)	0.20m × 0.05m × 0.05m × 3	= 0.0015 m ³
(18)	0.15m × 0.05m × 0.05m	= 0.0004 m ³
(19)	0.05m × 0.05m × 0.05m	= 0.0001 m ³
(20)	0.15m × 0.05m × 0.05m	= 0.0004 m ³
(23)	0.20m × 0.15m × 0.05m	= 0.0015 m ³
(24)	0.15m × 0.02m × 0.05m × 2	= 0.0003 m ³
		計 = 0.0223 m ³

遊離石灰除去 数量表

工法	寸法	数量
11	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
12	5.30m × 0.20m	= 1.06 m ²
13	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
14	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
15	5.30m × 0.20m	= 1.06 m ²
16	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
17	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
18	5.30m × 0.20m	= 1.06 m ²
19	5.30m × 0.20m	= 1.06 m ²
20	5.30m × 0.30m	= 1.59 m ²
		計 = 13.78 m ²

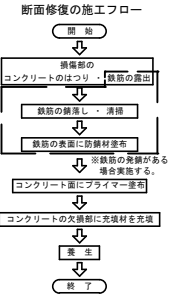
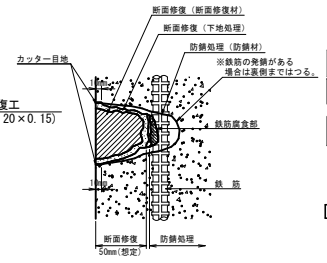
ひびわれ注入工
(ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



材料表

工種	仕様
注入材	可溶性エポキシ樹脂

断面修復工
(剝離・鉄筋露出、うき、変形・欠損)



材料表

工種	仕様
鋼材防錆処理工	リン酸系・有機酸・キレート化剤等
下地処理工	ポリマーセメント系ベース材
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

防錆材品質

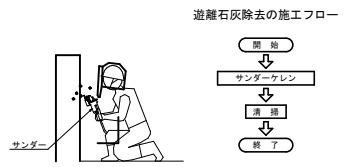
新アルカリ性試験 塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強度試験 7.8 N/mm² 以上

ポリマーセメントモルタル品質

項目	ポリマーセメントモルタル
単位容積質量	1.8~2.2 kg/l
フロー	120~160
硬化時間	0.5~8時間
圧縮強度	24 N/mm ² 以上
引張強度	1.8~3.4 N/mm ²
引張弾性係数	13~21 kN/mm ²
引張強度	3~6 N/mm ²
収縮率	200~1000 (×10 ⁻⁶)
熱膨張率	8~15 ×10 ⁻⁶ /°C

※出典：コンクリートライブラリー 表面保護工法 設計施工指針(第) H17.4 (土木学会)

遊離石灰除去
(ディスクサンダー)



損傷の凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ	〰	遊離石灰	〇	うき	○
剝離	〇	漏水	〇		
鉄筋露出	〇	その他	〇		

- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 断面補修工法および寸法は、調査結果により算出しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。
 4. 断面修復深さは鉄筋腐食状況により異なる。

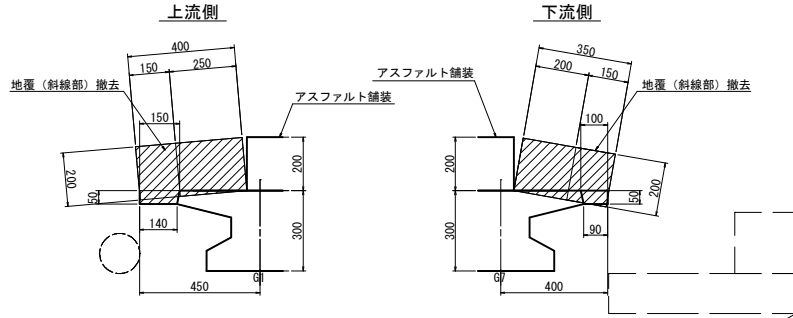
※全部施工につき着色省略

工事番号	202600644	
路線名	市道木杭柳堤線	
施工地名	大崎市古川北宮沢字袖沢 地先	
工事名	市道新前田沢橋(新橋)橋脚外2箇所(橋脚)橋脚補修工事	
図面名	新前田沢橋 上部工補修工図	
縮尺	S=1:30	位置
設計者		位置
大崎市建設部建設課		図章

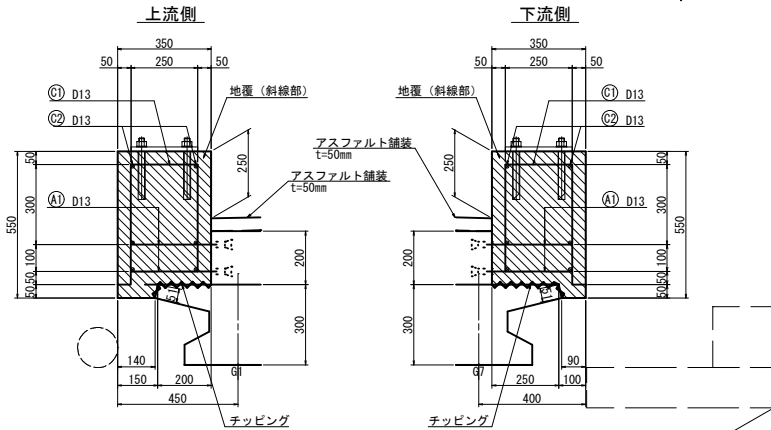
新前田沢橋 地覆打換え工図

地覆断面図 S=1:10

現況

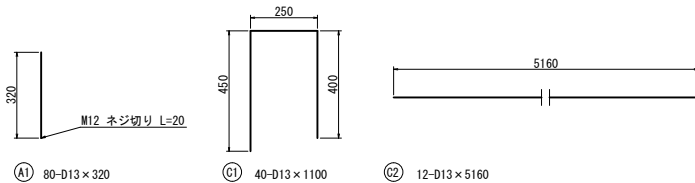


嵩上げ



鉄筋加工図 S=1:10

(1橋当り)



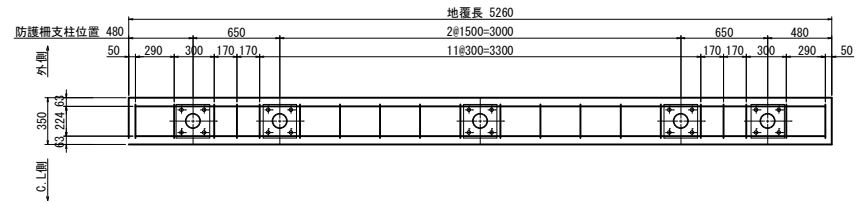
鉄筋表

(1橋当り)

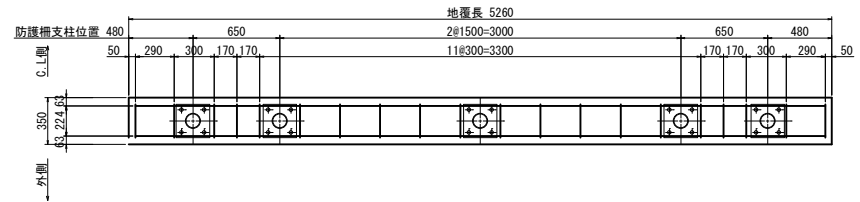
種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
A1	D13	320	80	0.995	0.318	25	
C1	D13	1100	40	0.995	1.095	44	
C2	D13	5160	12	0.995	5.134	62	
1橋当りの合計				SD345	D13	131	kg
コンクリートアンカー (本体打込み式)				M12		80	本

地覆配筋図 S=1:20

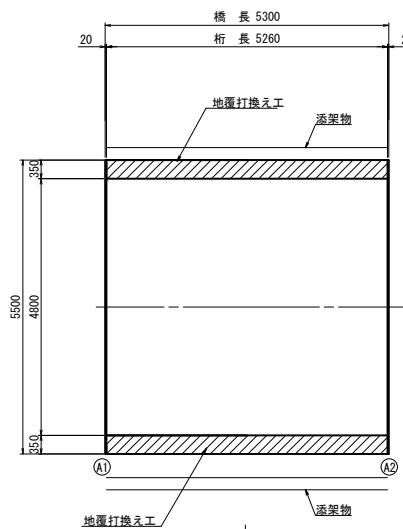
平面図(上流側)



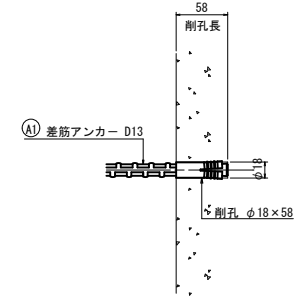
平面図(下流側)



配置図 S=1:50



差筋アンカー定着部詳細図 S=1:3



注記)

1. 工事着手前に現地計測し、関連寸法の確認を行うこと。
2. アンカー削孔の際は、既設鉄筋を破断せぬよう配筋調査を行うこと。
3. コンクリートとの接合面は、チップング処理を施すこと。
4. コンクリートの設計基準強度は、 $\sigma_{ck} = 24N/mm^2$ とする。
5. 防護柵アンカーと干渉する地覆鉄筋は移動すること。
6. 地覆鉄筋と既設鉄筋は連結させること。
7. 添架物は一時仮受けをし、養生をすること。

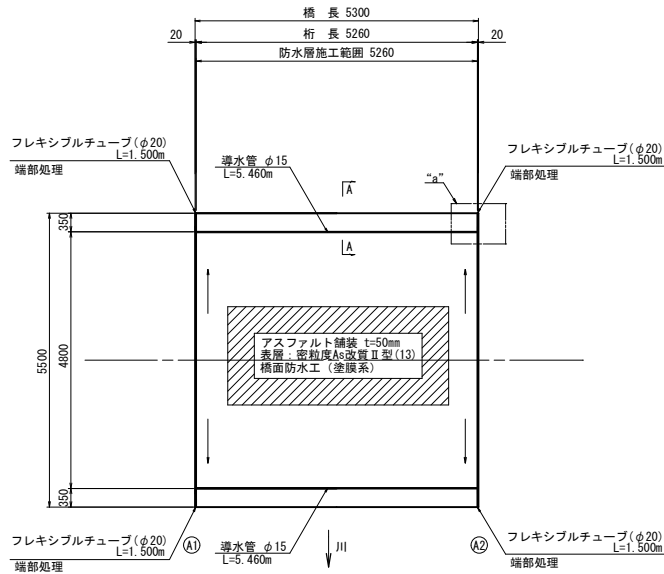
※全部施工につき着色省略

工事番号	202600644
路線名	市道木杭柳堤線
施工地名	大崎市古川北宮沢字袖沢 地先
工事名	市道長岡線外2線橋 (新橋幅2号橋外2橋) 橋梁修繕工事
図面名	新前田沢橋 地覆打換え工図
縮尺	図示
位置	設計
設計者	大崎市建設部建設課
図番	

新前田沢橋 橋面防水工図

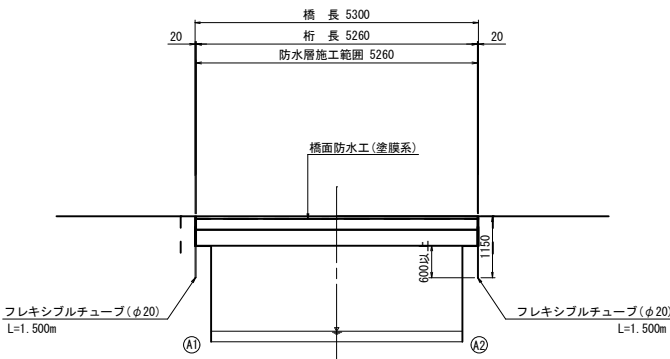
平面図

S=1:50



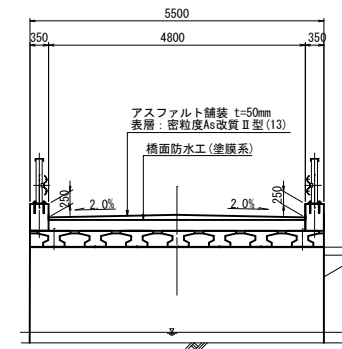
側面図

S=1:50



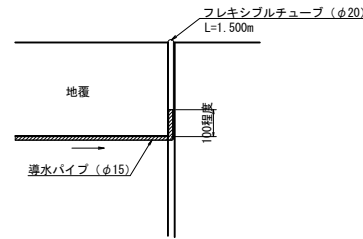
断面図

S=1:50



a部詳細図

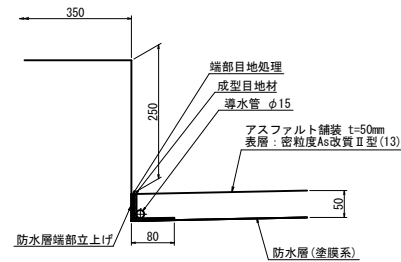
S=1:10



端部防水処理詳細図

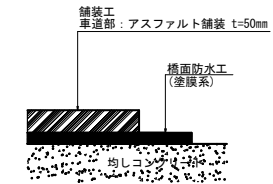
S=1:5

A - A

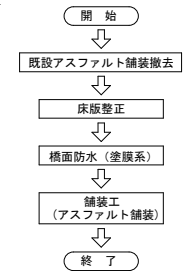


橋面舗装 補修概要図

S=1:6



橋面防水工施工フロー



<注記>

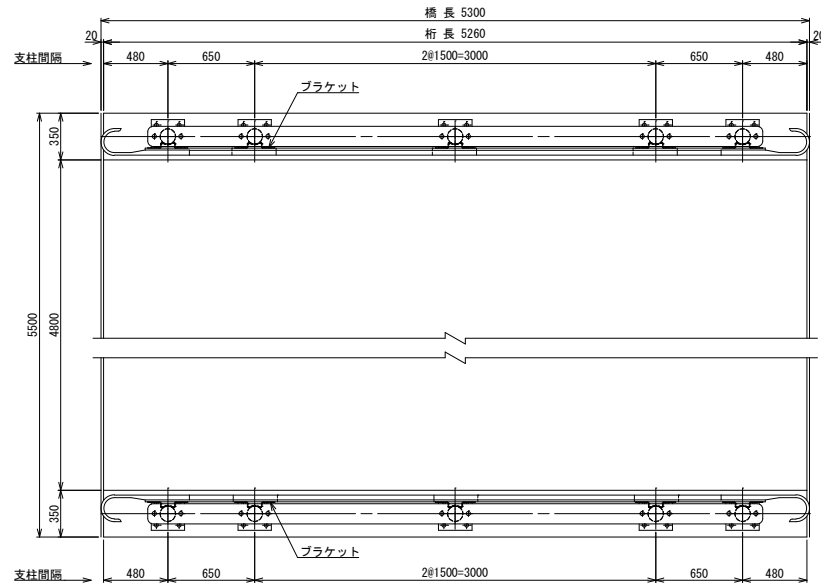
1. 図中詳細寸法は、現場計測の上決定すること。
2. 塗膜防水は、既設舗装全厚を撤去し、コンクリート上の設置を原則とする。
3. コンクリート面にレイタンス、付着を阻害する塵埃、油脂などが付着していると、塗膜防水の接着性に悪影響を及ぼすため、これらの有害物を確実に除去すること。
4. 塗膜防水はコンクリート部が十分に乾燥している状態で施工すること。乾燥状態の確認は、水分計による含水率10%程度以下を目安とする。
5. 既設舗装撤去後、床版コンクリート上面の調査を行うこと。脆弱部があった場合は、補修したうえで防水層の施工を行うこと。
6. 舗装打換え厚は、既設舗装厚を確認後、監督員と協議の上決定すること。
7. 導水パイプの流末は、橋梁部に滞水しないように適切に処理すること。

※全部施工につき着色省略

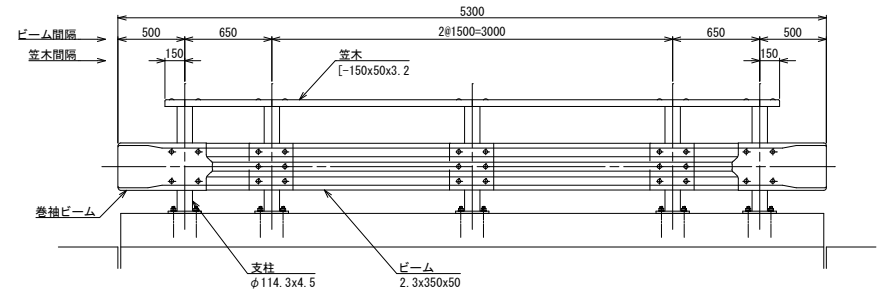
工事番号	202600644
路線名	市道木杭柳堤線
施工地名	大崎市古川北宮沢字袖沢 地先
工事名	市道長岡線外2路線 (新環状2号橋外2橋) 橋面修繕工事
図面名	新前田沢橋 橋面防水工図
縮尺	図示
設計者	位置
大崎市建設部建設課	設計年度
	図番

新前田沢橋 防護柵取替え工図 (その1)

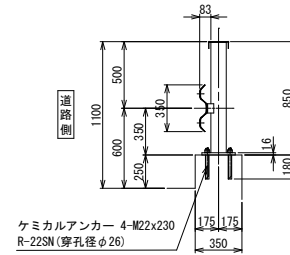
平面図 S=1/20



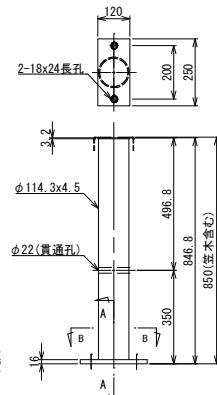
正面図 S=1/20



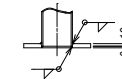
断面図 S=1/20



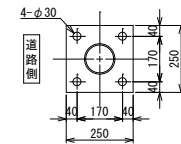
支柱 S=1/10



A-A 断面図

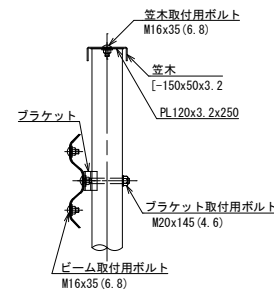


B-B 断面図



材料表			
品名	形状寸法	数量	備考
支柱	φ114.3x4.5x850	10	BPL含む
ビーム	2.3x350x1830	4	1.5m用
巻袖ビーム	2.3x350x980	4	0.65m用
笠木	2.3x150x50x1500	4	1.5m用
端部笠木	3.2x150x50x150	4	0.65m用
ブラケット	4.5x70x31x300	10	
ブラケット取付用ボルト	M20x145	10	
笠木・ビーム取付用ボルト	M16x35	80	

取付詳細図 S=1/10



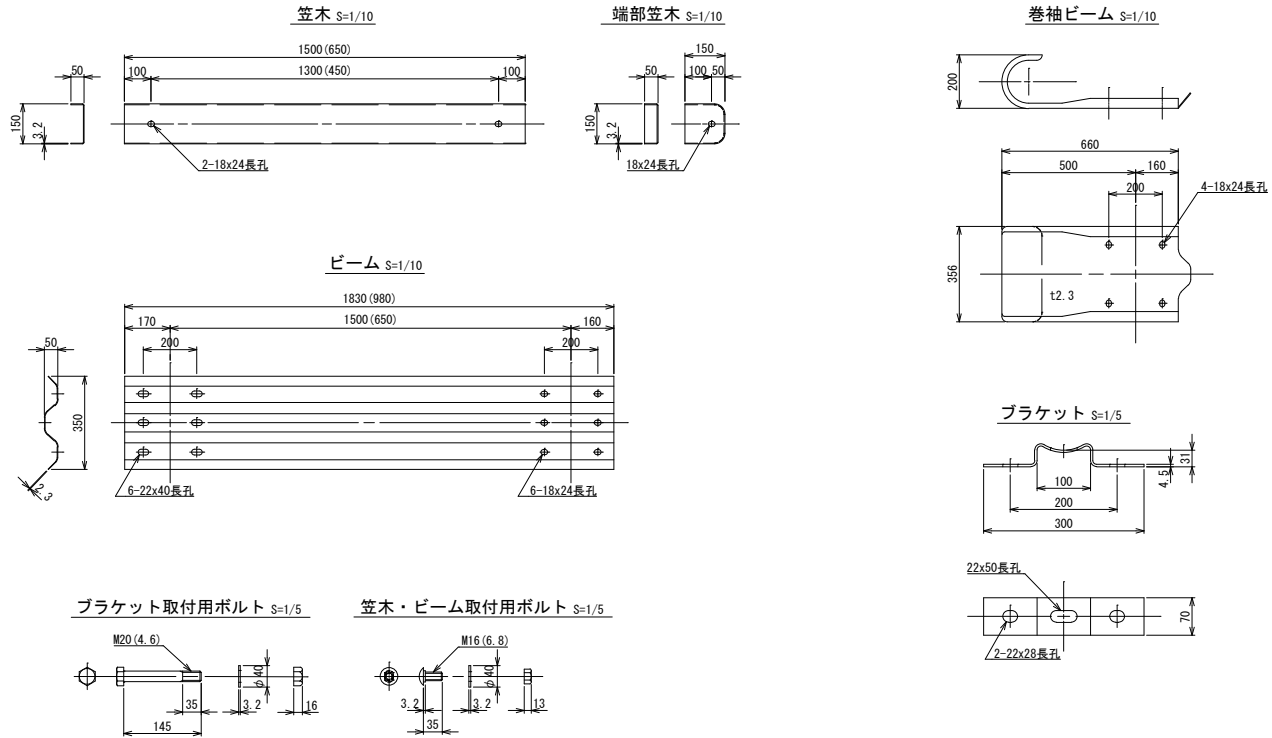
注記

1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。

※全部施工につき着色省略

工事番号	2026000644
路線名	市道木杭柳堤線
施工地名	大崎市古川北宮沢字抽沢 地先
工事名	市道長岡線外2線 (新橋線2号橋付2線) 橋梁修繕工事
図面名	新前田沢橋 防護柵取替え工図 (その1)
縮尺	図示
設計者	位置
大崎市建設部建設課	図番

新前田沢橋 防護柵取替え工図 (その2)



※全部施工につき着色省略

工事番号	2026000644	
路線名	市道本杭柳堤線	
施工地名	大崎市古川北宮沢字袖沢 地先	
工事名	市道長尾線外2線橋（新橋幅2車線外2線）橋梁修繕工事	
図面名	新前田沢橋 防護柵取替え工図 (その2)	
縮尺	図示	位置
設計者	設計年度	
大崎市建設部建設課	図番	

新前田沢橋 下部工補修工図

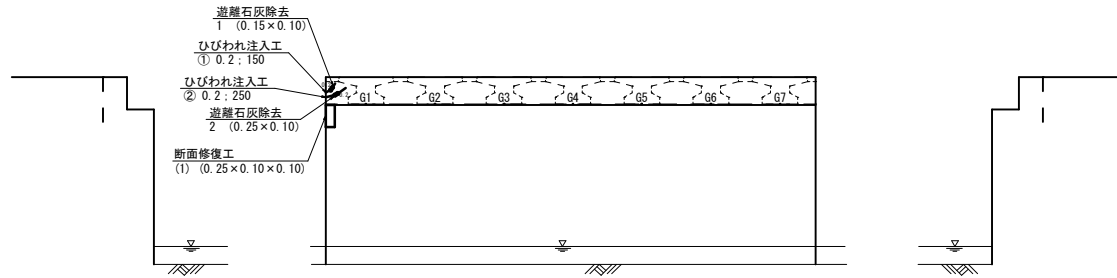
S=1:30

A2 橋台

断面図 (A1から見た図)
正面

側面図
一盛土 R A1一

側面図
一A1 L 盛土一



ひびわれ注入工 数量表

工法	ひびわれ長さ	数量
ひびわれ注入工	① L= 0.15 m	0.15 m
	② L= 0.25 m	0.25 m
計		0.40 m

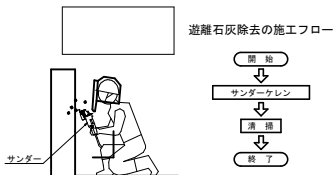
断面修復工 数量表

工法	寸法	数量
断面修復工	(1) 0.25 m × 0.10 m × 0.10 m	0.0025 m ³
計		0.0025 m ³

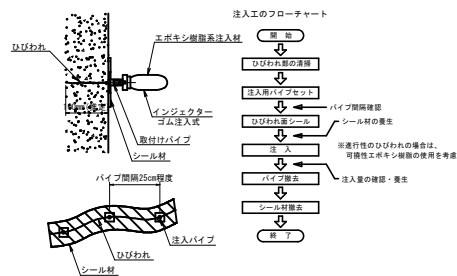
遊離石灰除去 数量表

工法	寸法	数量
遊離石灰除去	1 0.15 m × 0.10 m	0.02 m ²
	2 0.25 m × 0.10 m	0.03 m ²
計		0.05 m ²

遊離石灰除去 (ディスクサンダー)

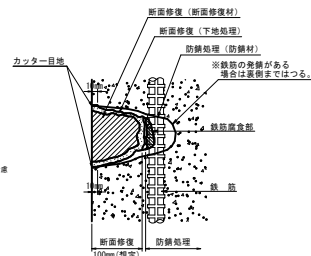


ひびわれ注入工 (ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満) (注入圧力 0.4MPa 以下の低圧低速注入工法)

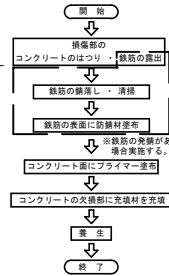


工種	仕様
注入材	可塑性エポキシ樹脂

断面修復工 (変形・欠損)



断面修復の施工フロー



材料表

工種	仕様
鋼材防錆処理工	リン酸亜鉛・有機酸・キレート化剤等
下地処理工	ポリマーセメント系ベース材
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

防錆材品質

耐アルカリ性試験	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8 N/mm ² 以上

ポリマーセメント系モルタル品質

項目	ポリマーセメントモルタル
単位容積質量	1.8~2.2 kg/l
フロー	120~160
硬化時間	0.5~6時間
圧縮強度	24 N/mm ² 以上
付着強度	標準 1.8~3.4 N/mm ² 温冷経度 1.6~3.0 N/mm ²
弾性係数	13~21 kN/mm ²
引張強度	3~6 N/mm ²
収縮率	200~1000 (×10 ⁻⁶)
熱膨張率	8~15 (×10 ⁻⁶)

※出典：コンクリートライブラリー 鉄筋保護工法 設計施工設計 (編) H17.4 (土木学会)

損傷の凡例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ	〰	遊離石灰	○
剥離	○	漏水	○
鉄筋露出	○	その他	○

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 断面補修工法および寸法は、調査結果により算出しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。
4. 断面修復深さは鉄筋腐食状況により異なる。

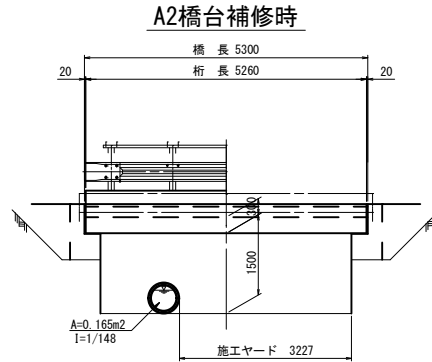
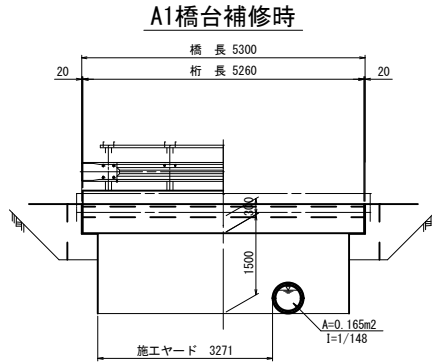
※全部施工につき着色省略

工事番号	2026000644	
路線名	市道木杭柳堤線	
施工地名	大崎市古川北宮沢字袖沢 地先	
工事名	市道長岡線外護欄 (新護欄2号機外2機) 橋梁修繕工事	
図面名	新前田沢橋 下部工補修工図	
縮尺	S=1:30	位置
設計年度		設計年度
大崎市建設部建設課		図審

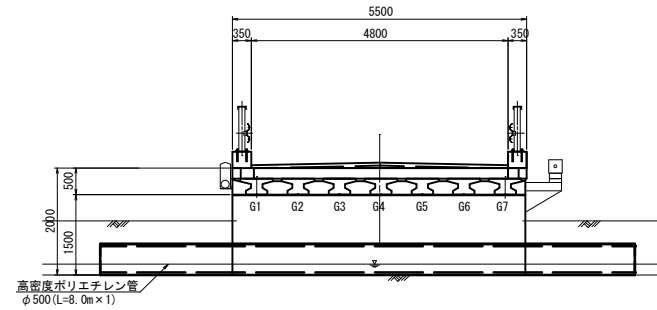
新前田沢橋 施工参考図 (その1)

S=1:50

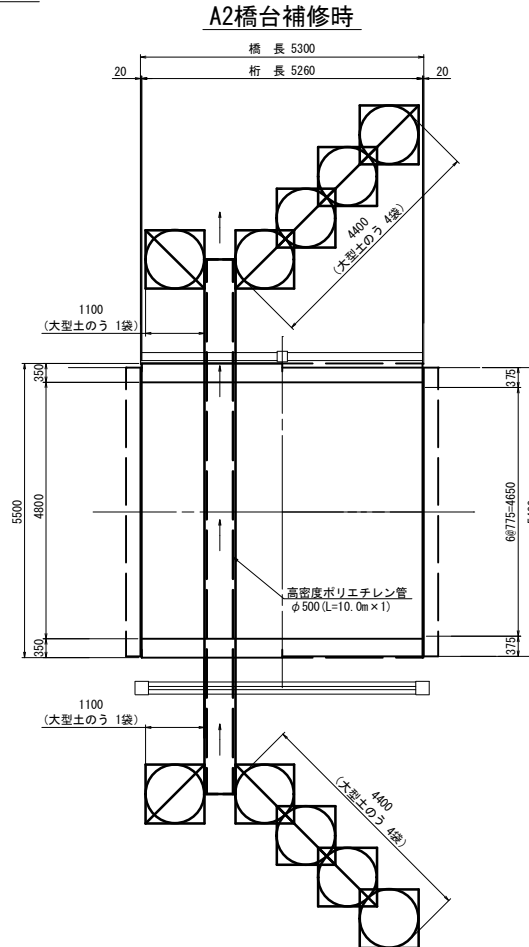
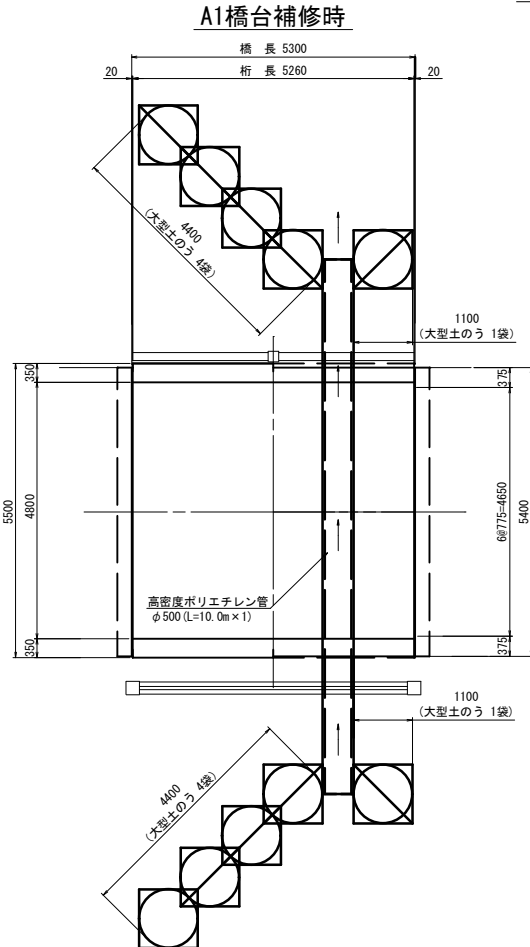
側面図



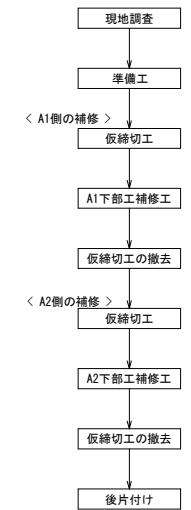
断面図



平面図



仮締切工施工フロー



大型土のう数量

A1側仮締切(φ1100×H1000) N=10袋

A2側仮締切(φ1100×H1000) N=10袋

ΣN=20袋

※実施

工事番号	2026000644	
路線名	市道木杭柳堤線	
施工地名	大崎市古川北宮沢字袖沢 地先	
工事名	市道長岡橋外2線橋(新橋幅2車線外2橋)橋梁修繕工事	
図面名	新前田沢橋 施工参考図(その1)	
縮尺	S=1:50	位置
設計者		設計年度
大崎市建設部建設課		図番

注記

1. 工事着手前に現地計測し関連寸法の確認を行うこと。
2. 大型土のうは遮水シートで養生し、水の浸透を防ぐこと。